brother

MFC-J810DN/J810DWN
MFC-J860DN/J860DWN
かんたん設置ガイド

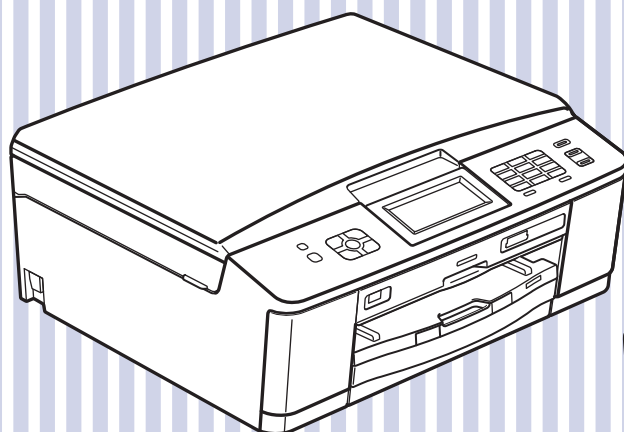
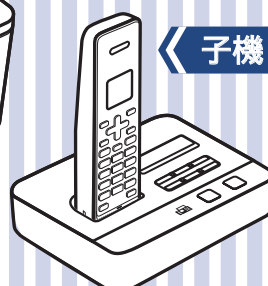
Step 1
設置・接続する

Step 2
パソコンに接続する

USB接続
Windows®
Macintosh

無線LAN接続
Windows®
Macintosh

困ったときは

付録

設置が終わったら「ユーザーズガイド 基本編」をご覧ください。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 **別冊のユーザーズガイド 基本編 第9章「こんなときは」または本書の「困ったときは」で調べる**

2 **ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる**

▶ http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話からも簡単なサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

サポートサイト

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version 0 JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子）

本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。

付属

2. かんたん設置ガイド（冊子）

お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子）

本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

4. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式）

本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。

5. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式）

ネットワークに関する基礎的な情報を記載しています。

6. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式）

本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。

CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた
⇒ 73 ページ

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

画面で見るマニュアル（HTML 形式）

上記のうち、3 ～ 6 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。

モバイルプリント & スキャンガイド（PDF 形式）

Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。

Google クラウドプリントガイド（PDF 形式）

本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリント ™ サービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。

AirPrint ガイド（PDF 形式）

パソコンを介さずに、iOS を搭載した携帯端末からデータを直接印刷する方法を説明しています。

http://solutions.brother.co.jp/

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。http://solutions.brother.co.jp/

目次

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷に至る可能性があり、かつその切迫の度合いが高い内容を示します。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
確認	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	本書内での参照先を記載しています。

確認

- 本書に掲載されている画面は、Windows® の場合は Windows® XP、Macintosh の場合は Mac OS X v10.5 の画面を代表で使用しています。お使いの OS や環境またはモデルによって、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

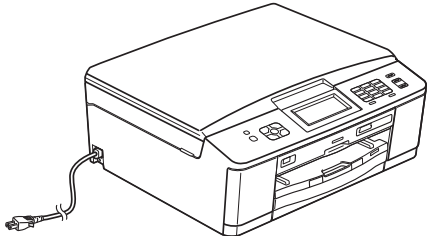
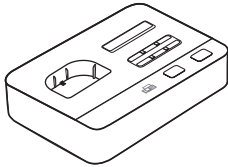
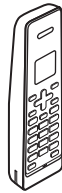
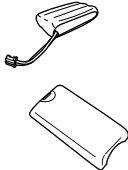
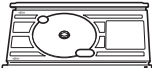
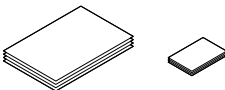
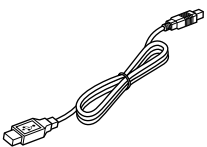
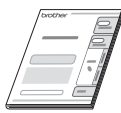
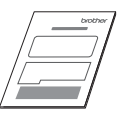
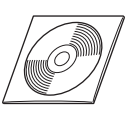
本書は MFC-J810DN、MFC-J810DWN、MFC-J860DN、MFC-J860DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に記載されていますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト / 画面

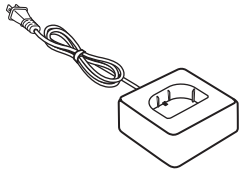
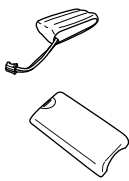
本書では本製品や操作パネルおよび画面の説明に、MFC-J860DN のイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、複合機本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。
http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、別冊のユーザーズガイド 基本編 「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

1 付属品の確認

付属品を確認する

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店または「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）」にご連絡ください。

複合機本体		通信ボックス	子機	電話機コード
スターターインクカートリッジ（4 個）*1		子機用バッテリー 子機用バッテリーカバー	通信ボックス用 AC アダプター	
ディスクトレイ（MFC-J860DN/J860DWN のみ）		A4 記録紙（普通紙） L 判記録紙（光沢紙）	USB ケーブル	
かんたん設置ガイド（本書）	安全にお使いいただくために	ユーザーズガイド 基本編	CD-ROM*2	

*1 お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、製品に同梱されているスターターインクカートリッジを必ずご使用ください。

*2 CD-ROM に収録されているドライバー、ソフトウェア、ユーザーズガイドは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からもダウンロードできます。ただし、一部のソフトウェアはこの CD-ROM にしか収録されていません。

● 子機 / 子機の付属品　※ MFC-J810DWN/J860DWN のみ

子機	子機充電器	子機用バッテリー 子機用バッテリーカバー

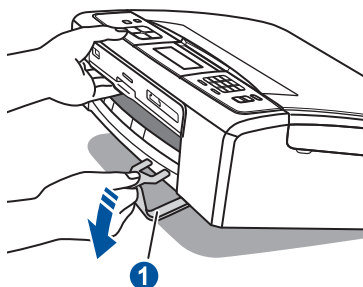
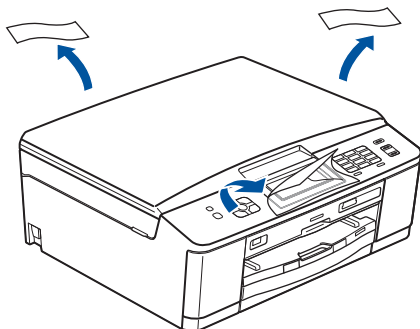
2 設置する

保護部材を取り外す

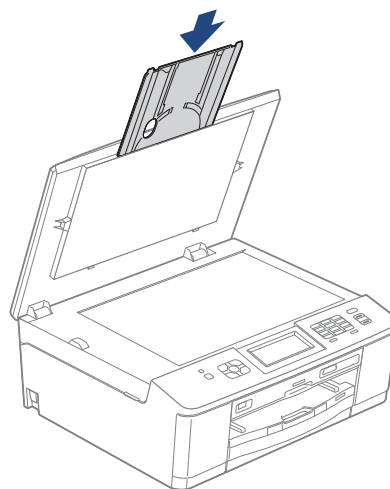
製品を取り出したら、テープや保護部材を取り外します。梱包用の箱や保護部材は輸送のときに使用しますので、廃棄せずに保管してください。

1 本製品から輸送用の保護部材や梱包材を取り除く

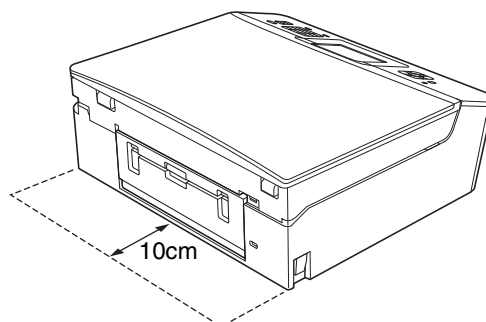
2 記録紙トレイを固定している保護部材❶を取り外す

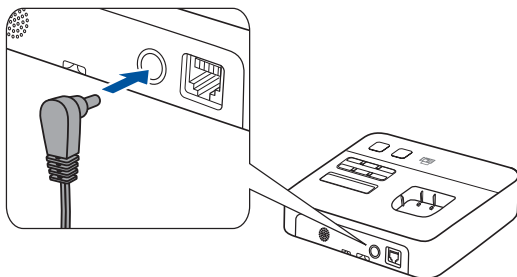
複合機本体の前面を上方向に持ち上げて傾け、保護部材を下に引き抜いてください。

3 複合機本体を固定しているテープやフィルム、タッチパネルの保護フィルムをすべてはがす

ディスクトレイを収納する（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

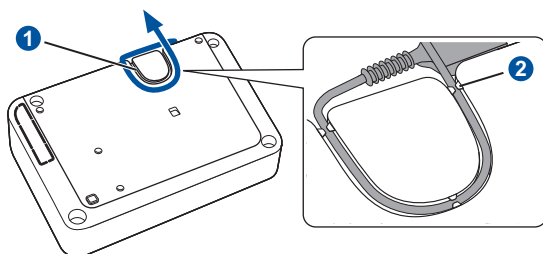
記録ディスク（CD-R/RW、DVD-R/RW、Blu-ray Disc™）のレーベル面へコピーや印刷をするときに使用するディスクトレイを、原稿台カバーに収納します。

1 原稿台カバーを持ち上げ、原稿台カバーの内側中央の収納スペースにディスクトレイを差し込み、原稿台カバーを閉じる

設置スペースを確認する

本製品は、電気製品（電子レンジ、無線 LAN 機器、短距離無線通信機器対応製品、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプター、OA 機器など）、セキュリティーシステムから 3m 以上離して設置してください。設置環境について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」

複合機本体を設置するときは、まわりに適切なスペースを確保してください。
（MFC-J860DN/J860DWN のみ）レーベルプリントの際、ディスクトレイが複合機本体の背面に突き出るため、背面側には必ず、10cm 以上のスペースが必要です。

通信ボックスとACアダプターをつなぐ

1 **付属の AC アダプターのプラグを、通信ボックスの AC アダプタープラグ差し込み口に差し込む**

2 **AC アダプターのコードを通信ボックス底面の溝❶に巻きつける**

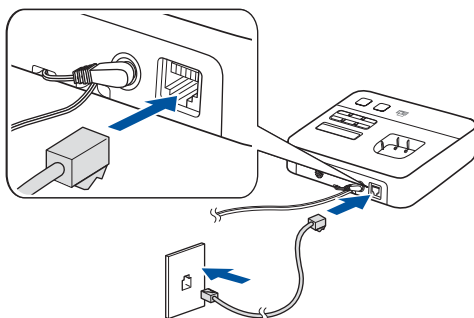
ツメ❷の下に入るよう、しっかりと押し込んでください。

確認

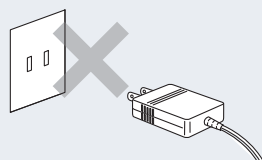
■ 電源プラグは、まだコンセントに差し込まないでください。

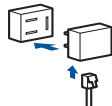
3 接続する（通信ボックス）

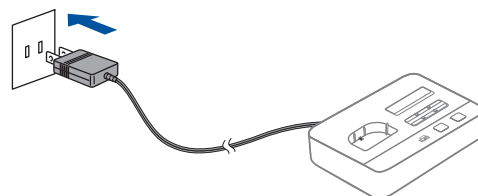
確認

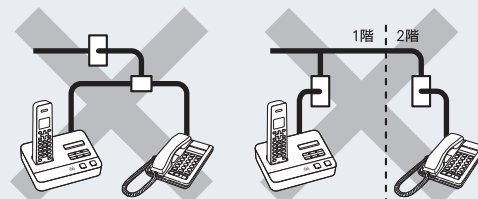
- ■ 以下に示す接続方法は一例です。間違った接続は他の機器に悪影響を与える可能性があります。以下に示す接続方法以外の接続をしたいときは、販売店にご相談ください。
- ■ お使いの電話回線にすでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品がご使用になれない場合があります。この場合は、配線工事が必要となります。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取り付け工事を行った販売店またはご利用の電話会社にご相談ください。
- ■ お使いの回線が ADSL・ISDN・ホームテレホン・ひかり電話などの場合は、「いろいろな接続」をご覧ください。
  ⇒ 25 ページ「いろいろな接続」
- ■ 電話機コードを接続しても、電話着信以外の機能はご使用になれません。その他の機能を使うためには、必ず「Step1 設置・接続する」のすべての設定を完了させてください。
- ■ 本製品は、2 つ以上の回線を同時に接続することはできません。
- ■ 本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。

1 付属の電話機コードを通信ボックスの電話回線接続端子と壁側の電話機コード差し込み口に差し込む

確認

- ■ AC アダプターの電源プラグは、まだコンセントに差し込まないでください。先に電話機コードから接続します。

付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 通信ボックスに接続した AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

確認

- ■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
  ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
  - ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
  - 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
  - コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
  - 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
  - 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
  - ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
  - パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

「ブランチ接続（並列接続）」とは、一つの電話回線に複数台の電話機や通信機器を接続することです。

4 回線種別を確認する（通信ボックス）

回線種別を確認します。

通信ボックスの電源を入れると、回線種別の自動設定が始まります。

カイセン チェック チュウ

自動設定が終わると、設定された回線種別が 2 秒間、画面に表示されます。

- 【プッシュ　カイセン　デス】
- 【ダイヤル 20PPS カイセンデス】
- 【デンワキ　コード　ヲ　セツゾク　シテクダサイ】※

※【デンワキ　コード　ヲ　セツゾク　シテクダサイ】と表示されたときは

電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

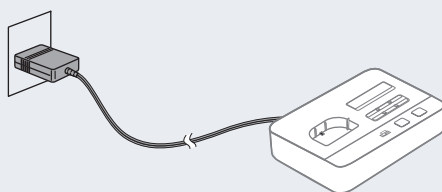
⇒ 6 ページ「接続する（通信ボックス）」

接続が正しい状態でも表示が消えない場合は、回線からの供給電圧が不足していることが考えられます。「回線からの供給電圧がありません」とご利用の電話会社や回線業者にお問い合わせください。

電話機コードを接続しない場合は、停止 を押したあと、画面のメッセージを確認して ▼⏮（ハイ）を押してください。

正しく接続しないまま 5 分以上経過すると、回線種別は【ダイヤル　20PPS】（ダイヤル 20PPS 回線）に設定されます。

確認

■ 回線種別の設定が終わっても、通信ボックスの電源プラグは抜かないでください。電源を入れたまま、次の操作にお進みください。

引き続き、「用紙をセットする（複合機本体）」に進みます。

用紙をセットする（複合機本体）（8 ページ）

確認

■ 下記の場合には、本製品が自動で正しく回線種別を設定できないことがあります。

- ダイヤル 10PPS 回線をご利用の場合
- ひかり電話 / IP 電話 / 直収電話サービスをご利用の場合
- 構内交換機（PBX）が接続されている場合

引き続き本製品の設置 / 設定を進め、子機の準備を完了したあと、接続状態の確認を行って正しく設定できたかどうかを確認してください。通信ボックスに【カイセンシュベツ　ヲ　セッテイシテクダサイ】というメッセージが表示された場合は、接続できていません。手動で回線種別を設定してください。

⇒ 24 ページ「接続を確認する」
⇒ 7 ページ「手動で回線種別を設定する」

手動で回線種別を設定する

(1) 通信ボックスの 機能/確定 を押す

(2) ▼⏮ / ▲⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

(3) ▼⏮ / ▲⏭ で【2. カイセンシュベツ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

(4) ▼⏮ / ▲⏭ で回線種別を選び、機能/確定 を押す

- 回線種別がわからないときは、【ダイヤル　20PPS】、【プッシュ　カイセン】、【ダイヤル　10PPS】の順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ　カイセン】に設定してください。

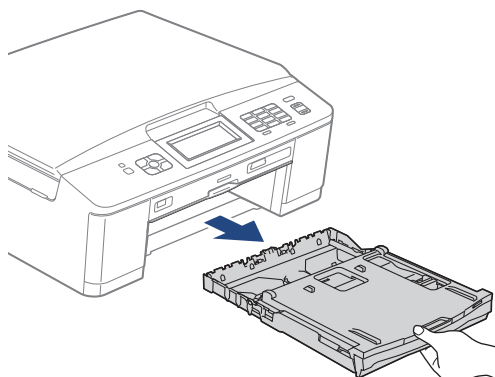
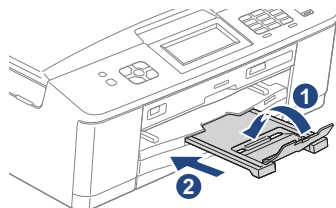
(5) 停止 を押して設定を終了する

5 用紙をセットする（複合機本体）

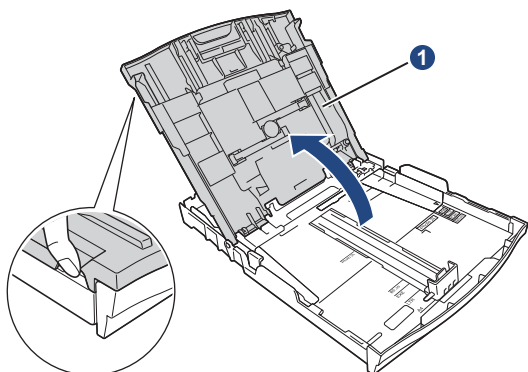
「印刷テスト」を行うために、記録紙トレイに付属の記録紙（A4）をセットします。

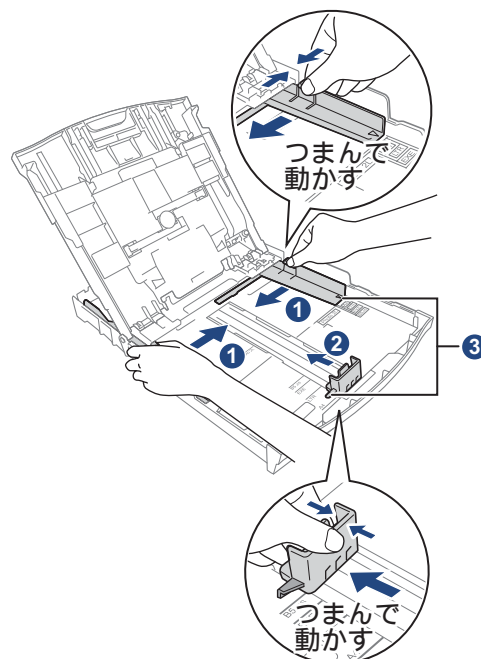
記録紙トレイには、A4 サイズの紙を約 100 枚までセットできます。セットできる記録紙の詳細については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

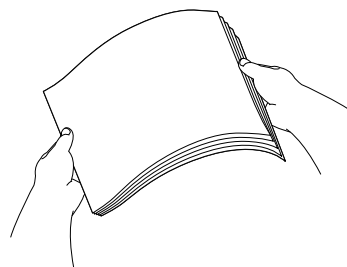
1 記録紙トレイを引き出す

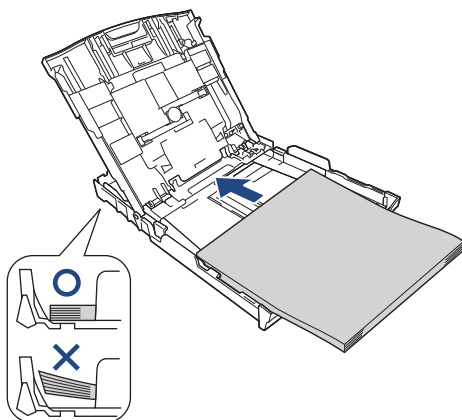
記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。

記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて ❶ 、格納して ❷ から、記録紙トレイを引き出してください。

2 トレイカバー❶を開く

注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

3 幅のガイド❶と長さのガイド❷の△の目印❸を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

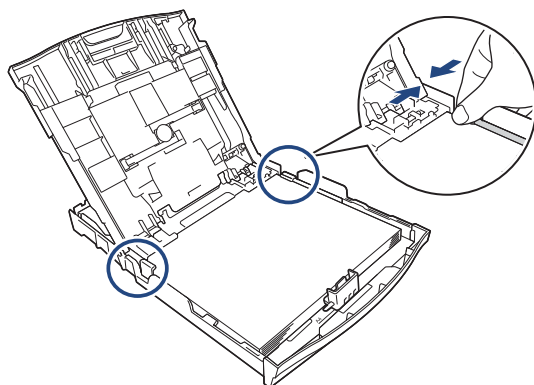
幅のガイドは両手で動かしてください。

4 記録紙をさばく

紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。
記録紙がカールしていないことを確認してください。記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。

5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

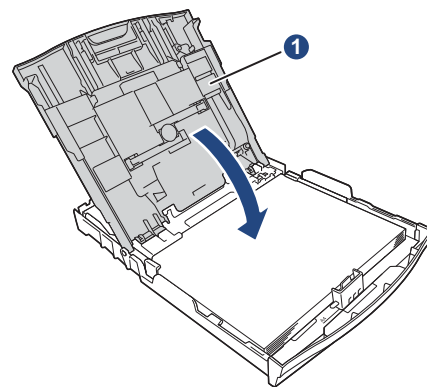
記録紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

6 幅のガイドを、記録紙にぴったりと合わせる

⚠ 注意

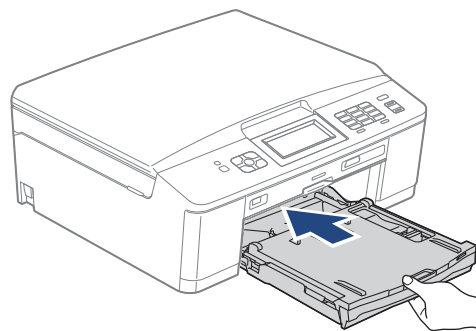
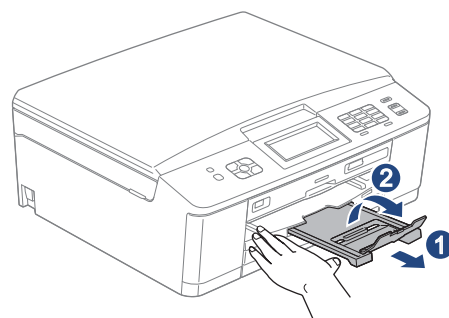
- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

幅のガイドは両手で動かしてください。

確認

■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 トレイカバー❶を閉じる

8 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に複合機本体に戻します。

力を入れて押し込まないでください。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。

9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し❶、フラップを開く❷

6 インクカートリッジを取り付ける（複合機本体）

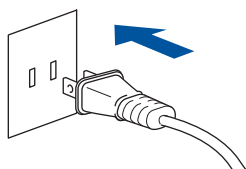
⚠ 注意

● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

確認

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

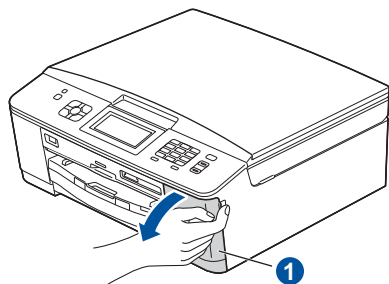
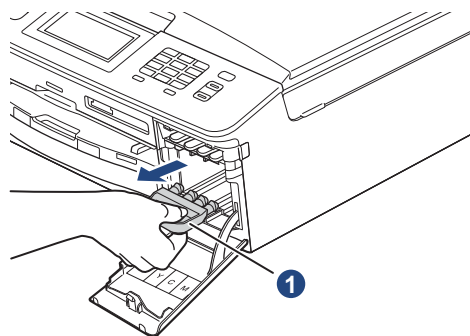
1 複合機本体の電源プラグをコンセントに差し込む

確認

■ ここではまだパソコンと接続しません。USB ケーブルは接続しないでください。

■ 電源ボタンを押すと、複合機本体の電源をオン / オフできます。
なお、本製品は、電源をオフにした場合でも、印刷品質を保つため、定期的にヘッドクリーニングを行う必要があります。ヘッドクリーニングを自動で定期的に行うために、複合機本体の電源プラグを抜かないで電源ボタンを使用してください。

2 画面の表示を確認する

画面には【インクカートリッジがありません】と表示されています。

3 インクカバー❶を開く

4 インク挿入口にセットされているオレンジ色の保護部材❶を取り出す

確認

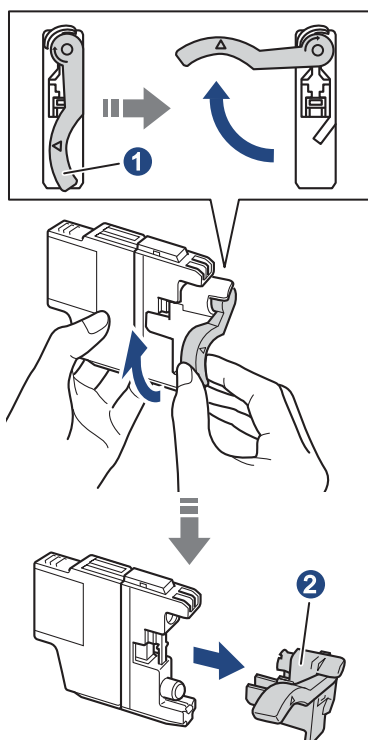
■ 保護部材は輸送のときに使用しますので、廃棄せずに保管してください。

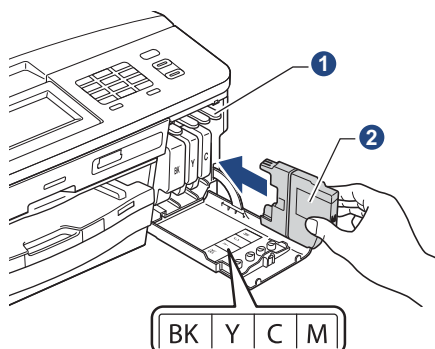
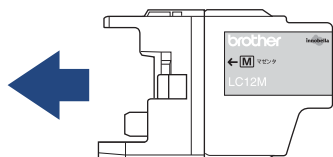
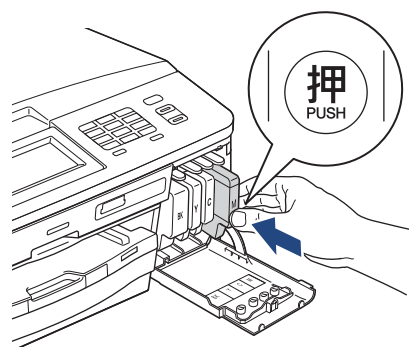
5 インクカートリッジを準備する

付属のスターターインクカートリッジを開封します。お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、必ずスターターインクカートリッジをご使用ください。

❻ インクカートリッジの緑色の取っ手❶を時計回りに回転させて封印を開放し、オレンジ色の保護カバー❷を引き抜く

⚠ 注意

- インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。
- インクカートリッジを振らないでください。印刷品質が悪くなることがあります。
- インクが皮膚や服に付いた場合は、すぐに水や石けんなどで洗い流してください。

❼ インクカートリッジを取り付ける

リリースレバーの色❶と、インクカートリッジの色❷を合わせてください。

インクカートリッジは、複合機本体に向かって左側にラベル面がくるようにして、垂直に差し込みます。

❽ 「カチッ」と音がしてリリースレバーが上がるまで、「押」の部分を押し込む

確認

- インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。プリントヘッドのクリーニング方法は、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「プリントヘッドをクリーニングする」
- 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。未開封の場合でも、パッケージに記載された有効期限以内に使用してください。
- 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

❾ インクカバーを閉じる

自動的に約 4 分間、プリントヘッドのクリーニングが行われます。

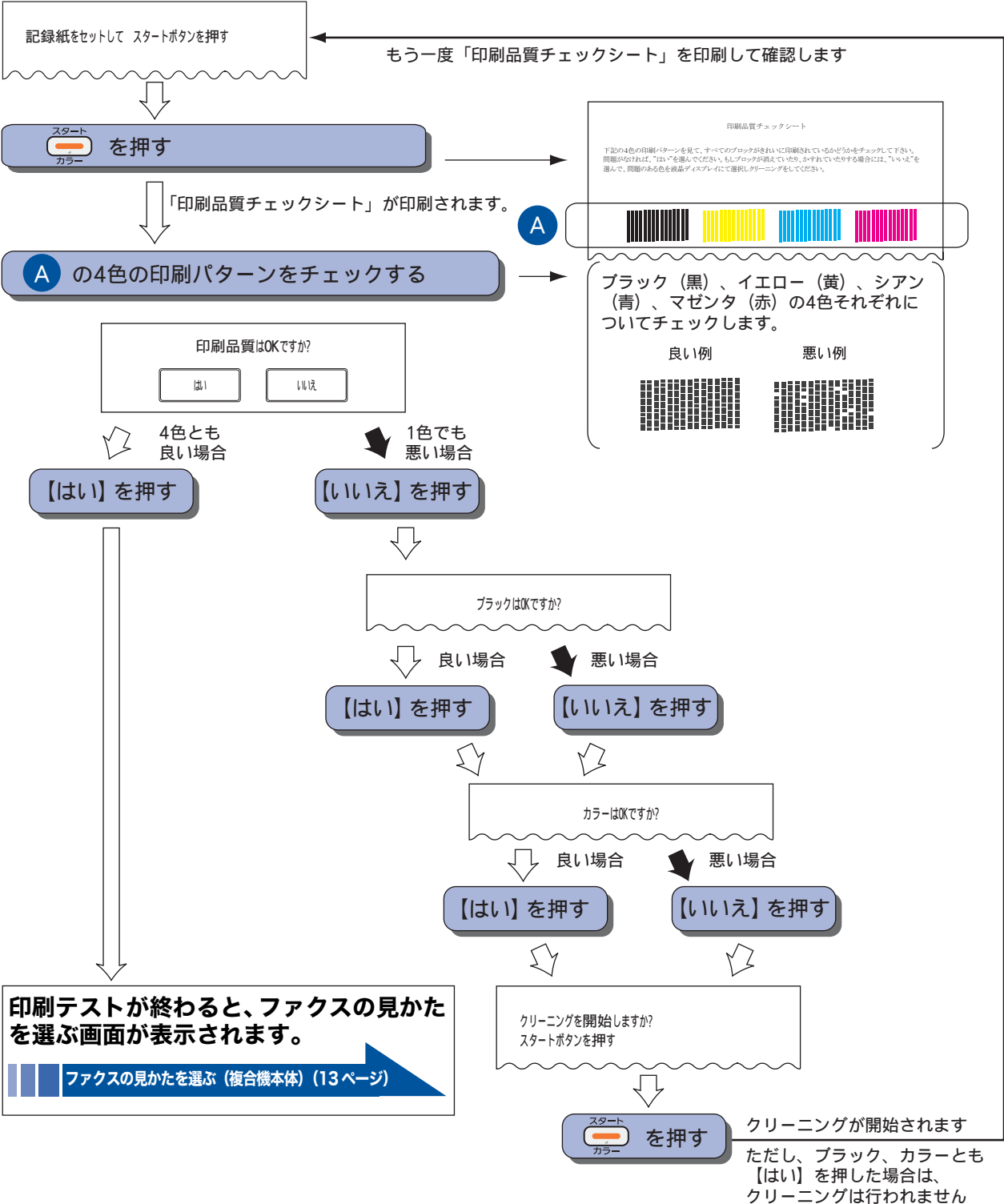
クリーニングを行う音がしますが、異常ではありませんので、電源を切らないでください。

【インクカートリッジがありません】と表示された場合は、インクカートリッジが正しくセットされていません。手順 ❼ または ❽ に戻り、インクカートリッジをセットし直してください。

プリントヘッドのクリーニングが終わると、【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。
引き続き、印刷テストに進みます。

印刷テストをする（複合機本体）（12 ページ）

7 印刷テストをする（複合機本体）

プリントヘッドのクリーニングが終わると、画面に【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。
以下の手順に従って、印刷品質のチェックを行います。

クリーニングを繰り返しても印刷品質が悪い場合は、3 ～ 5 時間放置したあとで、再度「印刷品質チェックシート」を印刷してみてください。

8 ファクスの見かたを選ぶ（複合機本体）

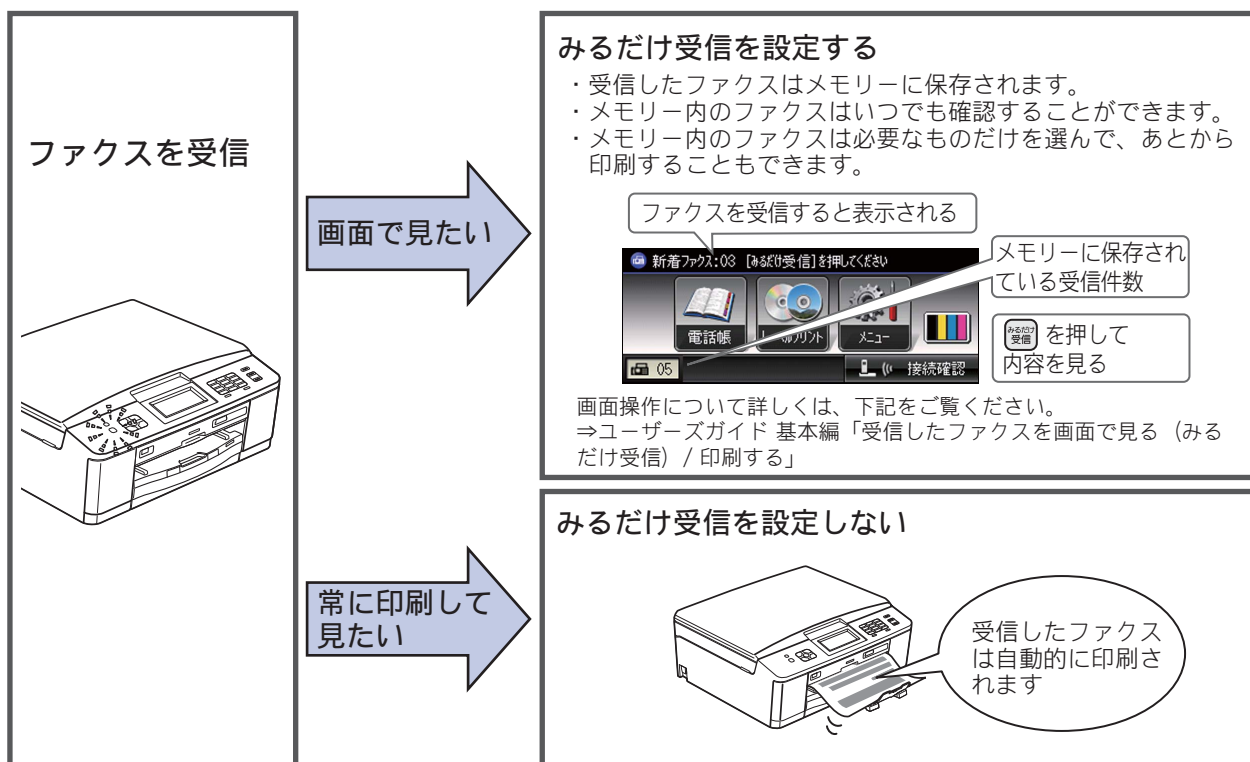
受信したファクスの見かたを選ぶ

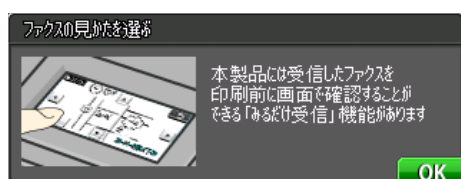
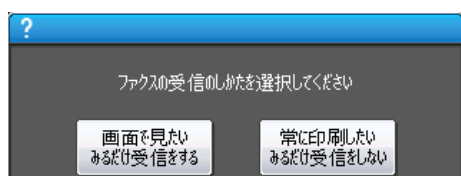
印刷テストが終わると、画面に【本製品には受信したファクスを印刷前に画面で確認することができる「みるだけ受信」機能があります】と表示されます。
みるだけ受信とは、ファクスをメモリーに保存して画面で内容を確認できる機能です。
受信したファクスの見かたを以下の 2 つからお選びください。

ファクスを受信

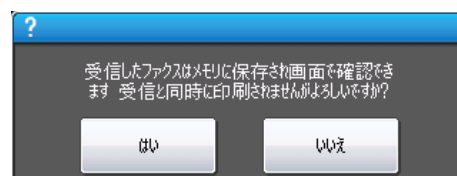
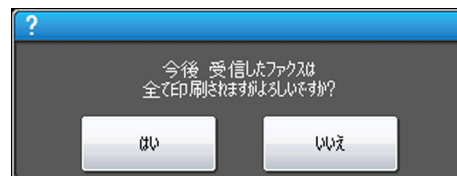
みるだけ受信を設定する

・受信したファクスはメモリーに保存されます。
・メモリー内のファクスはいつでも確認することができます。
・メモリー内のファクスは必要なものだけを選んで、あとから印刷することもできます。

画面操作について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

みるだけ受信を設定しない

1 【OK】を押す

2 ファクスの見かたを選択する

- 【画面で見たい　みるだけ受信をする】：みるだけ受信を設定します。
- 【常に印刷したい　みるだけ受信をしない】：みるだけ受信を設定しません。

3 メッセージを確認して、【はい】を押す

- 【画面で見たい　みるだけ受信をする】を押した場合

- 【常に印刷したい　みるだけ受信をしない】を押した場合

ファクスの見かたが設定されます。

ファクスの見かたの設定が終わると、日付と時刻を設定する画面が表示されます。

日付と時刻を設定する［時計セット］（複合機本体）（14 ページ）

9 日付と時刻を設定する［時計セット］（複合機本体）

ファクスの見かたの設定が終わると、複合機本体が通信ボックスとの通信状態を確認します。複合機本体と通信ボックスが正常に接続されていると、時計セット画面が表示されます。現在の日付と時刻を合わせます。

確認

- 時計の設定は、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されていなければ行えません。
- 正常に接続できていない場合は、待ち受け画面が表示されます。また、設定中に接続エラーが出た場合は、【実行できませんでした】と表示されます。停止／終了 を押して設定を終了してください。
  このようなときは下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてから、設定してください。
  ⇒ 15 ページ「通信ボックスと接続できていないときは」

この日付と時刻は複合機本体の待ち受け画面に表示され、ファクスを送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

複合機本体で時計を設定すれば、通信ボックスの時計も自動的に設定されます。

1 以下の画面が表示されていることを確認する

2 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、【OK】を押す

例：2013 年の場合は、【1】【3】と押します。

日付や時刻を間違って入力したときは、【×】を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

3 画面に表示されているテンキーで月を2桁で押し、【OK】を押す

例：1 月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、【OK】を押す

例：21 日の場合は、【2】【1】と押します。

時刻の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制（4 桁）で押し、【OK】を押す

例：午後 0 時 45 分の場合は、【1】【2】【4】【5】と押します。

設定が終わり、画面に日付と時刻が表示されます。

時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。

時計設定がしてあっても、発信元登録をしないと、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

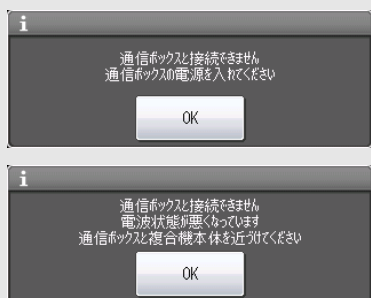
ファクスの受信方法を設定します。

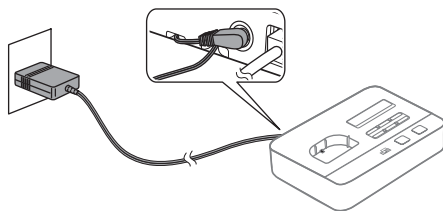
ファクスの受信方法を設定する（複合機本体）（16 ページ）

通信ボックスと接続できていないときは

時計セット画面が表示されなかった場合や、日付と時刻の設定ができなかった場合は、接続確認メッセージを確認し、複合機本体と通信ボックスを接続します。

1 複合機本体の 接続確認 を押す

通信ボックスとの現在の接続状況とメッセージが表示されます。

2 メッセージを確認して【OK】または 停止／終了 を押し、対処する

- 【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください】と表示された場合
  通信ボックスの電源が入っていない可能性があります。通信ボックスの AC アダプターの両端を、通信ボックスとコンセントに確実に差し込んでください。

- 【通信ボックスと接続できません　電波状態が悪くなっています　通信ボックスと複合機本体を近づけてください】と表示された場合
  通信ボックスと複合機本体が離れすぎている可能性があります。2 台を近づけます。

上記以外のメッセージが表示された場合は、下記をご覧の上、対処してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは」

3 もう一度、複合機本体の 接続確認 を押して、接続状態を確認する

正常に接続されると、【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されます。

【通信ボックスと接続できません】と表示された場合は、接続されるまで手順 2、3 を繰り返してください。

4 【OK】または 停止／終了 を押して確認を終了する

通信ボックスとの接続が確立できたら、日付と時刻を設定します。

5 複合機本体の【メニュー】を押す

6 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

7 【時計セット】を押す

年の入力画面が表示されます。

8 日付と時刻を入力する

「日付と時刻を設定する［時計セット］（複合機本体）」の手順 2 から 5 と同様の手順で入力します。
⇒ 14 ページ「日付と時刻を設定する ［時計セット］（複合機本体）」

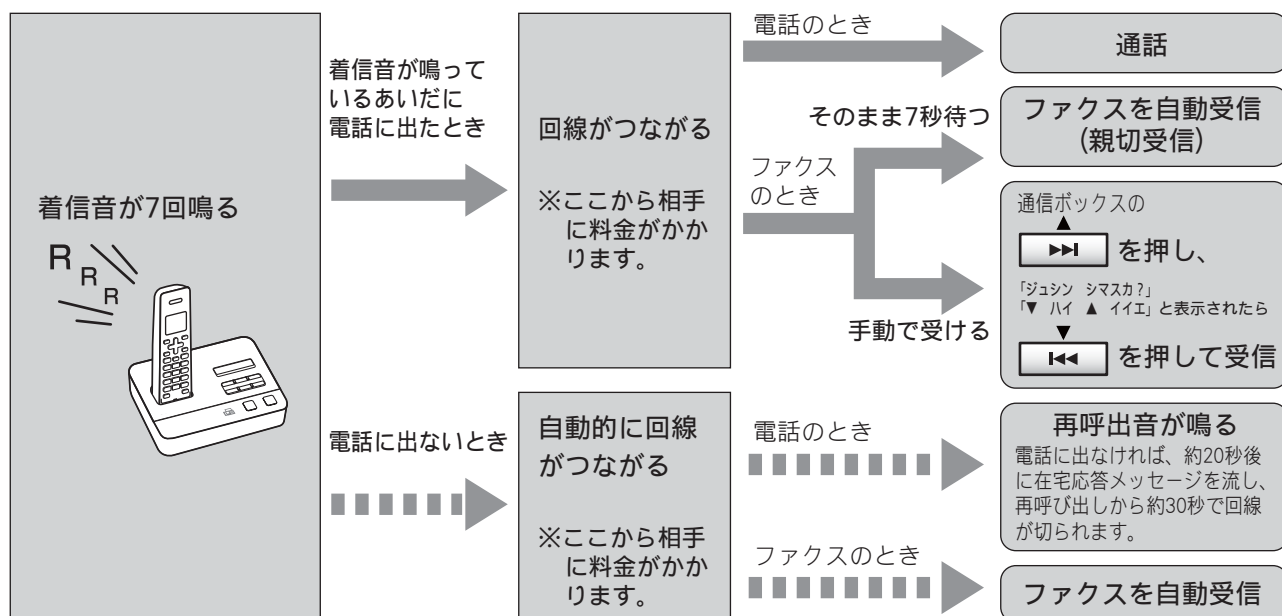
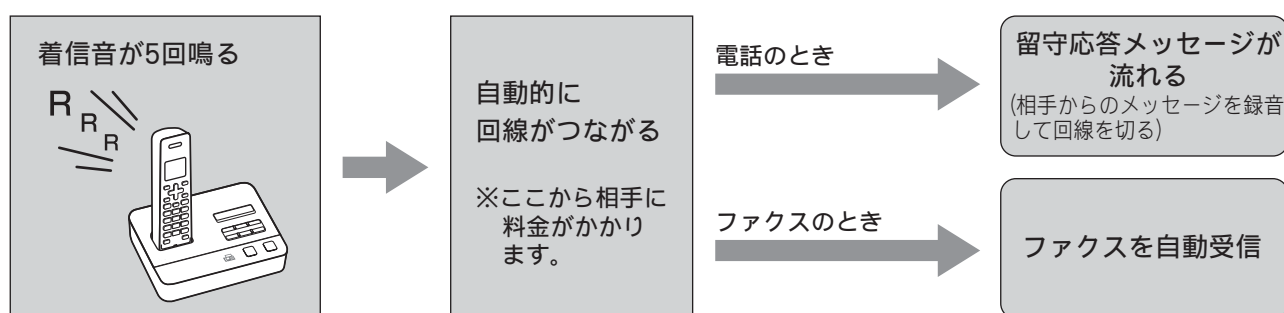
9 停止／終了 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。

10 ファクスの受信方法を設定する（複合機本体）

お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき

お買い上げ時は、次のように設定されています。留守番機能がセットされていない場合（在宅モード）と、セットされている場合（留守モード）とでは、本製品の動作は違います。

在宅モード：留守番機能がセットされていないとき

留守モード：通信ボックスの留守ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき

子機の着信音の回数を設定する

呼出回数の設定は、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されている状態で行ってください。

(1) 複合機本体の［接続確認］を押して、通信ボックスと正常に接続されていることを確認する

(2) 複合機本体の【メニュー】を押す

(3) 【ファクス／電話】を押す

(4) 【受信設定】を押す

(5) 【呼出回数】を押す

(6) 【在宅モード】を押す

留守モードが設定されているときの呼出回数を設定する場合は、【留守モード】を押します。

(7) 呼出回数を選ぶ

在宅モードの場合は、【0 ～ 15（回）／無制限】から、留守モードの場合は、【0 ～ 7（回）／トールセーバー】から選びます。

目的の呼出回数が表示されていないときは、【◀】/【▶】を押して表示させせます。

(8) 停止 / 終了 を押して設定を終了する

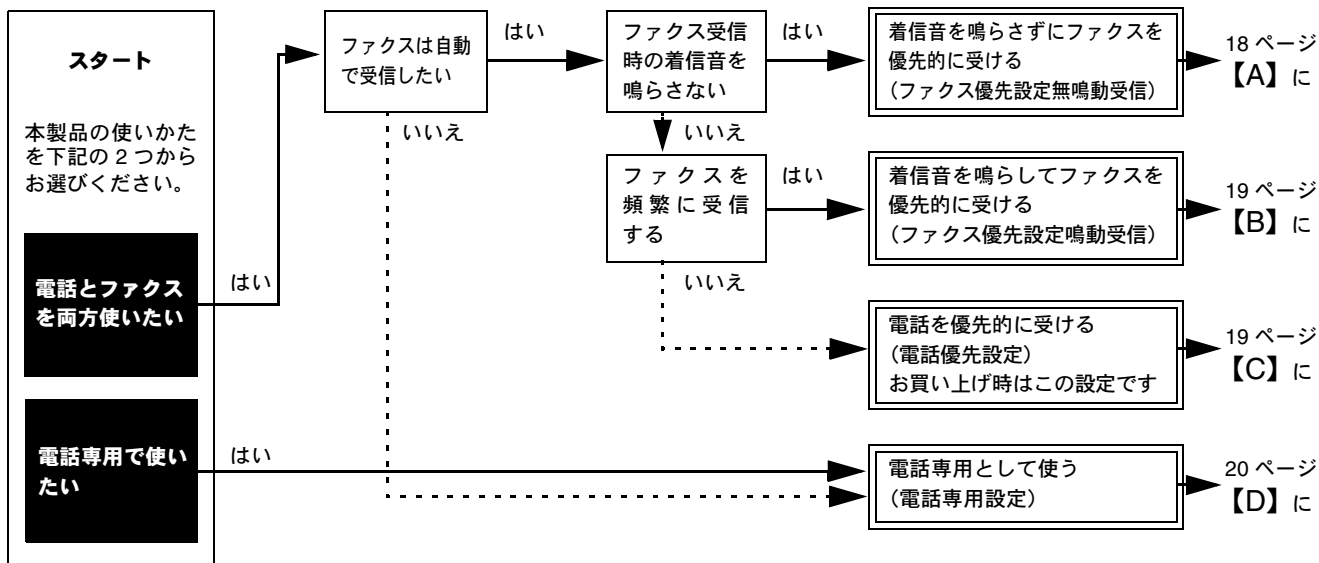
着信音を鳴らさずにファクスを受けたり、ファクス専用として使うこともできます。

電話・ファクスの受けかたを変更する（18 ページ）

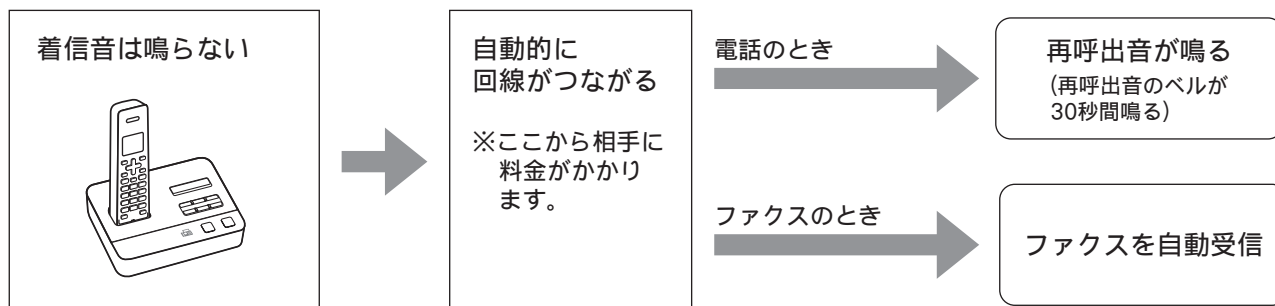
ファクスの受信方法を設定したら、「名前とファクス番号を登録する（複合機本体）」に進みます。

名前とファクス番号を登録する（複合機本体）（21 ページ）

電話・ファクスの受けかたを変更する

在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受けかたを変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。なお、各設定は、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されている状態で行ってください。

※ ファクス専用で使用したい場合や、留守モードの設定を変更するには、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話・ファクスの受けかたを変更する」

【A】着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定無鳴動受信）

無鳴動受信を設定します。呼出回数は 0 回、再呼出設定は【オン】、再呼出音は【相手にベル】、再呼出時間は【30 秒】に設定されます。

(1) **複合機本体の 接続確認 を押して、通信ボックスと正常に接続されていることを確認する**

(2) **複合機本体の【メニュー】を押す**

(3) **【ファクス／電話】を押す**

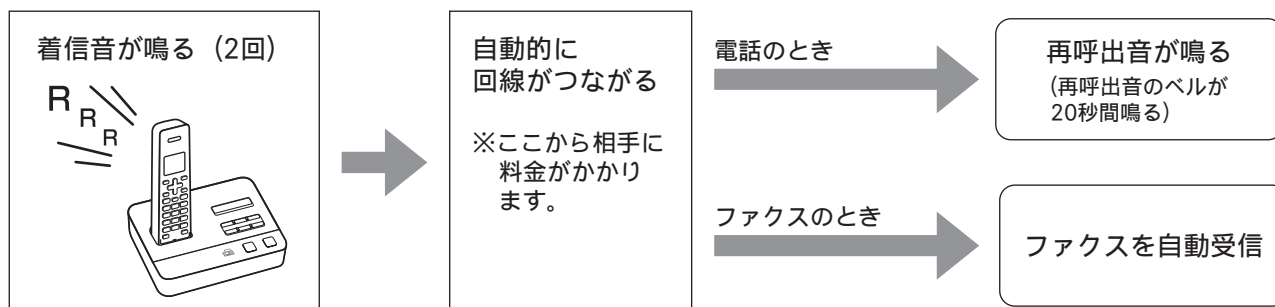
(4) **【受信設定】を押す**

(5) **【ファクス無鳴動受信】を押す**
【ファクスのときは着信音を鳴らさずに自動受信し電話のときは再呼出音が鳴り　留守モードのときは留守応答メッセージが流れる設定にします／する／しない】と表示されます。

(6) **【する】を押す**
呼出回数は在宅モード時、留守モード時ともに【0（回）】、再呼出設定は【オン（相手にベル）】になり、ファクス優先無鳴動受信が設定されます。
【しない】を押すと、呼出回数は在宅モード時【7（回）】、留守モード時【5（回）】、再呼出設定は【オン（相手にベル）】になります。

(7) 停止／終了 **を押して設定を終了する**

【B】着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

着信を知らせる呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オン】に設定します。
例：呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オン】、再呼出音を【相手にベル】、再呼出時間を【20 秒】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）

自動的に回線がつながる

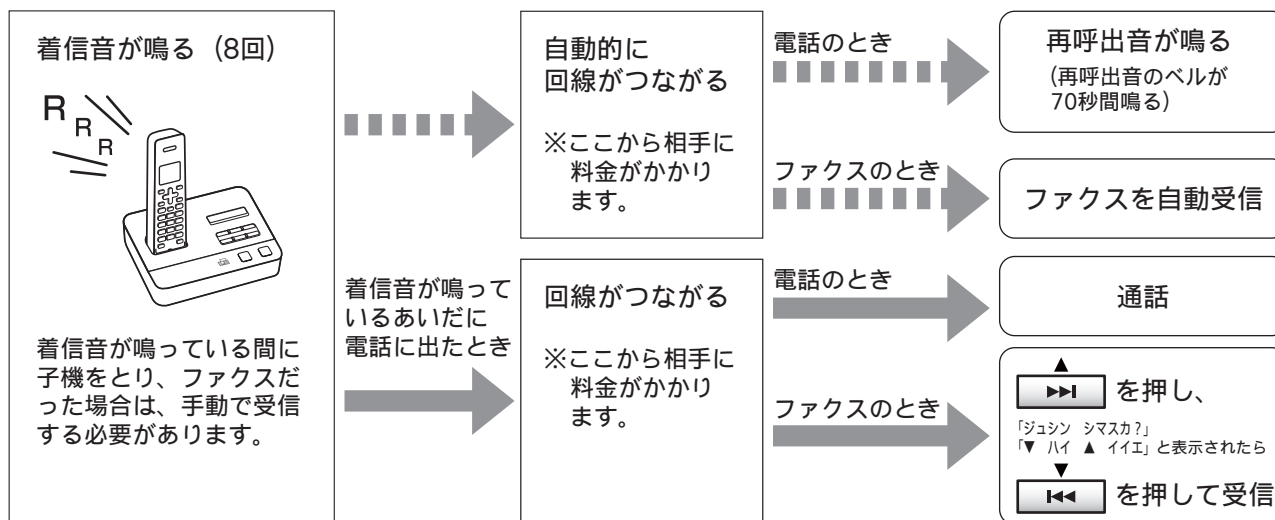
※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが20秒間鳴る）

ファクスのとき → ファクスを自動受信

(1) 複合機本体の［接続確認］を押して、通信ボックスと正常に接続されていることを確認する
(2) 複合機本体の【メニュー】を押す
(3) 【ファクス／電話】を押す
(4) 【受信設定】を押す
(5) 【呼出回数】を押す
(6) 【在宅モード】を押す
(7) 【1】または【2】を押す
(8) ［戻る］を押す
(9) 【再呼出設定】を押す
(10) 【オン】を押す
(11) 【相手にベル】を押す
(12) 【20 秒】を押す
(13) ［停止 / 終了］を押して設定を終了する

【C】電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信を知らせる呼出回数を 7 ～ 15 回にし、再呼出設定を【オン】に設定します。
例：呼出回数を 8 回、再呼出設定を【オン】、再呼出音を【相手にベル】、再呼出時間を【70 秒】に設定した場合

着信音が鳴る（8回）

着信音が鳴っている間に子機をとり、ファクスだった場合は、手動で受信する必要があります。

自動的に回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが70秒間鳴る）

ファクスのとき → ファクスを自動受信

着信音が鳴っているあいだに電話に出たとき → 回線がつながる

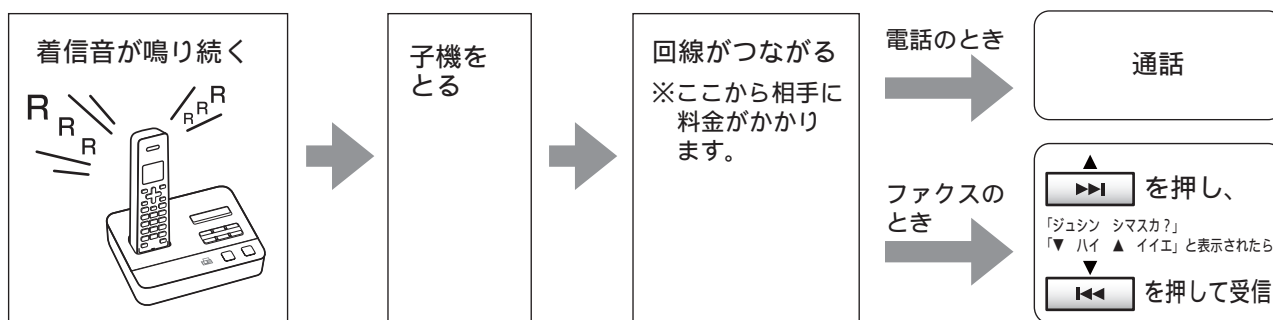
※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → 通話

ファクスのとき → ▲ を押し、「ジュシン　シマスカ？」「▼ ハイ　▲ イイエ」と表示されたら ▼ を押して受信

(1) 複合機本体の［接続確認］を押して、通信ボックスと正常に接続されていることを確認する
(2) 複合機本体の【メニュー】を押す
(3) 【ファクス／電話】を押す
(4) 【受信設定】を押す
(5) 【呼出回数】を押す
(6) 【在宅モード】を押す
(7) 【◀】/【▶】を押して目的の呼出回数を表示させ、【7】～【15】のいずれかを押す
(8) ［戻る］を押す
(9) 【再呼出設定】を押す
(10) 【オン】を押す
(11) 【相手にベル】を押す
(12) 【70 秒】を押す
(13) ［停止 / 終了］を押して設定を終了する

【D】電話専用として使う（電話専用設定）

着信を知らせる呼出回数を【無制限】に設定します。ファクスのときは、手動で受信します。

(1) 複合機本体の 接続確認 を押して、通信ボックスと正常に接続されていることを確認する

(2) 複合機本体の【メニュー】を押す

(3) 【ファクス／電話】を押す

(4) 【受信設定】を押す

(5) 【呼出回数】を押す

(6) 【在宅モード】を押す

(7) 【◀】/【▶】を押して【無制限】を表示させ、【無制限】を押す

(8) 停止／終了 を押して設定を終了する

11 名前とファクス番号を登録する（複合機本体）

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。［発信元登録］

2013/01/21 15:25　052XXXXXXX　山田　太郎　ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

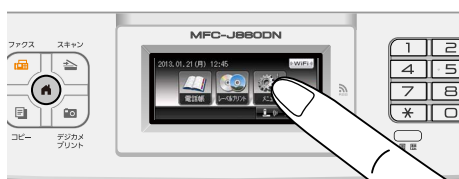
拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

　さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

確認

- 発信元情報は、ファクスをモノクロで送信するときにのみ付けることができます。カラーで送信する場合は付けられません。
- 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。

1 複合機本体の【メニュー】を押す

2 【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【発信元登録】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力し、【OK】を押す

20桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

名前の入力画面が表示されます。

5 名前を入力し、【OK】を押す

16 文字まで入力できます。

文字の入力方法については、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」

設定が有効になります。

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) 複合機本体の【メニュー】を押す

(2) 【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

(3) 【発信元登録】を押す

(4) 【×】を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、【OK】を押す

(5) 停止 / 終了 を押して操作を終了する

12 子機を準備する

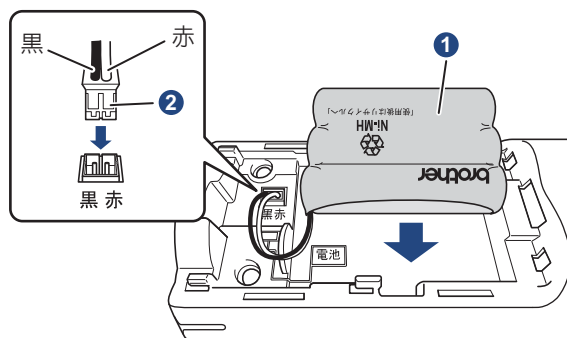
バッテリーをセットする

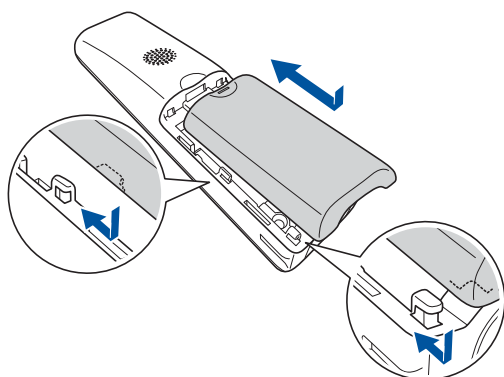
⚠ 危険

● バッテリーの取り扱いは、充分にご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

確認

- ■ バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、剥がしたり傷付けたりしないでください。
- ■ バッテリーをはじめて使用する際に、さびや発熱、その他異常と思われることがあったときは、使用せずに販売店にご連絡ください。
- ■ バッテリーの接続コネクタは、極性（赤 / 黒）を間違えないように差し込んでください。
- ■ バッテリーは消耗品です。充電が完了しても使える時間が短くなったときは交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約 1 年です。バッテリーはお買い上げの販売店でお買い求めください。

1 バッテリー❶をセットしたら、バッテリーコードの黒 / 赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ❷を差し込む

2 バッテリーカバーを閉める

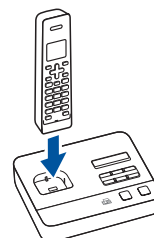
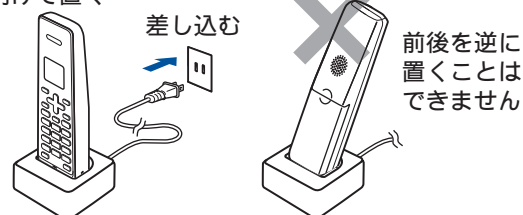
コードをはさまないように注意してください。

子機を充電する

⚠ 警告

● 子機、充電器の取り扱いは、充分にご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「子機、充電器の取り扱い」をお読みください。

確認

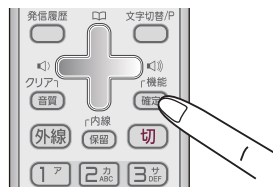
- ■ はじめてお使いいただくときは、必ず12時間以上充電してください。
- ■ 子機の充電器の電源を携帯電話の充電器と同じ電源からとらないでください。子機が正常に動作しない原因となります。
- ■ 子機を通信ボックスまたは充電器（MFC-J810DWN/J860DWN に付属）にセットしないで長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

1 子機を通信ボックスにセットする

2 （MFC-J810DWN/J860DWN）子機充電器の電源プラグをコンセントに差し込み、子機をセットする

- 充電を開始すると、画面に【ジュウデンチュウ】と表示され、▯が点滅し、充電ランプが点灯します。
- バッテリーの残量が極端に少なくなっているときは、充電器にセットしても【ジュウデンチュウ】と表示されなかったり、充電ランプが点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。
- 充電が完了すると、画面に▯が点灯し、【ジュウデンチュウ】の表示と充電ランプが消灯します。

3 12 時間以上充電する

子機の日付・時刻を設定する

子機の日付と時刻を設定します。

1 **子機の［機能 確定］を押す**

2 **［十字キー］で【トケイセッテイ】を選び、［機能 確定］を押す**

3 **日付を入力し、［機能 確定］または［十字キー］を押す**

例：2013 年 1 月 21 日の場合

［1］［3］［0］［1］［2］［1］と押します。

4 **時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、［機能 確定］を押す**

例：午後 0 時 45 分の場合

［1］［2］［4］［5］と押します。

5 **［切］を押して設定を終了する**

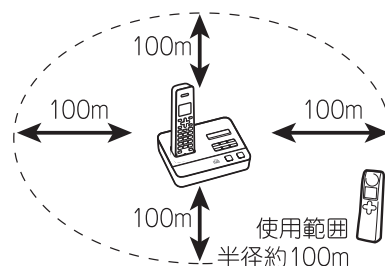
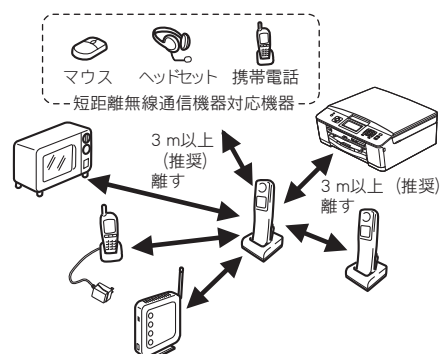
待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。

- 数字を入れ間違えたときは、［十字キー］で間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは［切］を押してください。

子機の設置場所を確認する（MFC-J810DWN/J860DWNのみ）

付属の子機（充電器）の設置場所については、以下のような点に注意してください。

- 通信ボックスから障害物のない直線距離で約 100m 以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。

  子機同士で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。

- 子機は、電気製品（電子レンジ、無線 LAN 機器、短距離無線通信機器対応製品、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプター、OA 機器など）やセキュリティーシステムから離して（推奨 3m 以上）設置してください。

- 子機は他の子機から離して（推奨 3m 以上）設置してください。
- 本製品に他社の子機を増設することはできません。

13 接続を確認する

回線接続状態を確認する

充電が終わっている子機を使って、接続状態を確認します。下記どちらかのように電話をかけて、回線接続が正しくできているか、また、子機（MFC-J810DWN/J860DWN に付属）の設置場所に問題がないかどうかを最終確認してください。

- 「177」（天気予報：有料）などにつながるかどうかを確認してください。
  通信ボックスに【カイセンシュベツ　ヲ　セッテイシテクダサイ】というメッセージが表示された場合や電話がつながらない場合は、手動で回線種別を設定してください。
  ⇒ 7 ページ「手動で回線種別を設定する」
- ご自分の携帯電話に電話がつながるかどうかを確認してください。電話がつながらない場合は、設定内容を確認してください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「こんなときは」

通信ボックスとの接続状態を確認する

通信ボックスとの通信状態が良好かどうかを、以下の手順で確認できます。子機を使用していない状態で確認してください。

1 複合機本体の 接続確認 を押す

2 通信ボックスと正常に接続しているかどうかを確認する

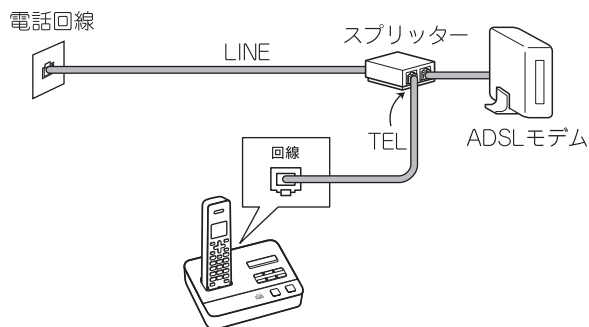
正常に接続されていると、複合機本体の画面に【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されます。

> 正常に接続できていない場合は、メッセージを確認の上、下記をご覧ください。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは」

3 【OK】または 停止/終了 を押して確認を終了する

いろいろな接続

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は､通信ボックスを ADSL スプリッターの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください｡スプリッターに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。

お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。

詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。

ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッターを交換すると改善する場合があります。

確認

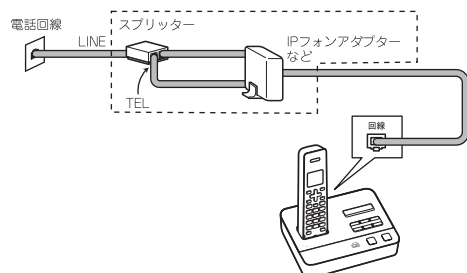
■ ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、通信ボックスと ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

IP フォンなどの IP 網をご利用の場合

(1) IP フォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 7 ページ「手動で回線種別を設定する」

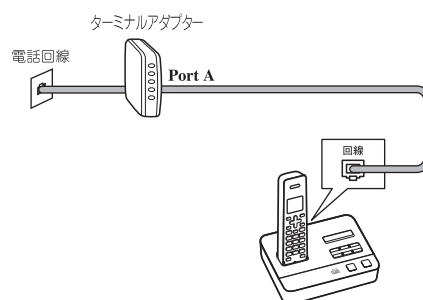
(2) IP 網を利用してファクス通信を行う場合

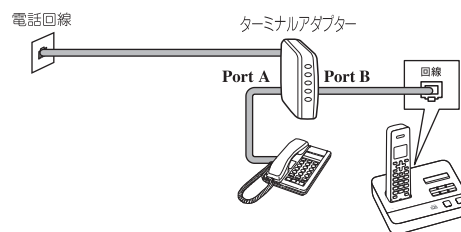
契約しているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。

ISDN をご利用の場合

通信ボックスを ISDN 回線のターミナルアダプターに接続するときは、以下の設定と確認を行ってください。

- 通信ボックス：
  回線種別を【プッシュ　カイセン】に設定する
- ターミナルアダプター：
  通信ボックスを接続して電話がかけられるか、電話が受けられるかを確認する

電話番号が 1 つの場合

通信ボックスを、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

電話番号が 2 つの場合

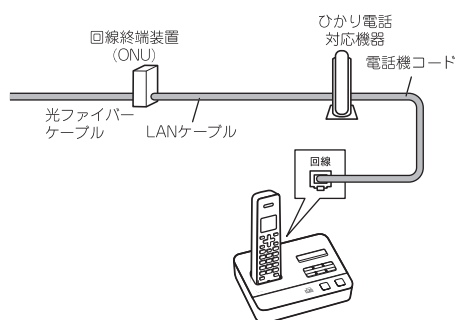
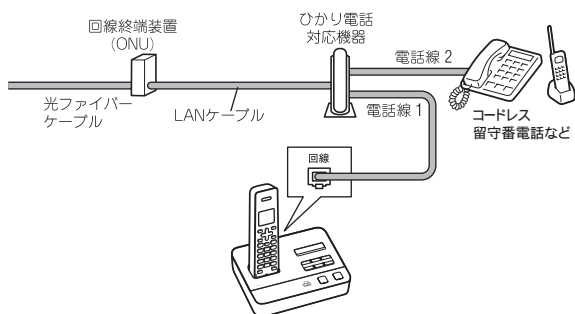
通信ボックスを、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

確認

■ ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【ISDN】を設定してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

■ 本製品が使用できないときは、別冊の「ユーザーズガイド 基本編」の「故障かな？と思ったときは」をご覧ください。また、ターミナルアダプターの設定を確認してください。ターミナルアダプターの設定の詳細は、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプター側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

ひかり電話をご利用の場合

● ひかり電話で複数番号を使う場合

確認

■ ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ　カイセン】に設定してください。
⇒ 7 ページ「手動で回線種別を設定する」

■ 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

- ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

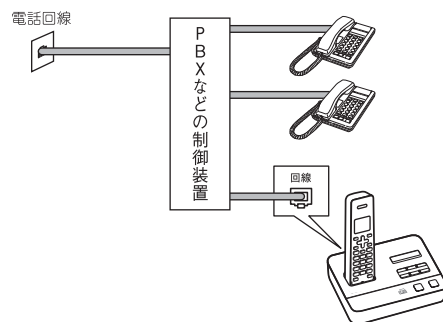
構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

構内交換機またはビジネスホンの内線に通信ボックスを接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

確認

■ 構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 7 ページ「手動で回線種別を設定する」

■ 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、通信ボックスの特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

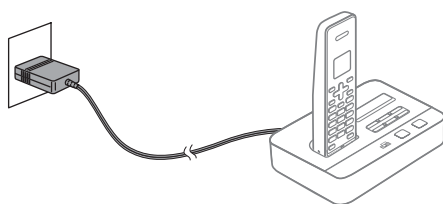
- ホームテレホンとは
  電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。
- ビジネスホンとは
  電話回線を 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。
- PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。ナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバーディスプレイ機能を設定する」

ファクス送受信テストをする

ファクスを正しく送ることができるか、または受けることができるかを、弊社の専用回線でテストできます。

「通信テスト」など、何か原稿にご記入いただき、複合機本体にセットして、下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。

テスト用ファクス番号：052-824-4773

ファクスを送る

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する

2 複合機本体の［接続確認］を押して、通信ボックスとの接続が確立されていることを確認する

複合機本体の画面に【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。

> 正常に接続できていない場合は、ファクスを送受信できません。メッセージを確認の上、下記をご覧ください。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは」

【OK】または［停止／終了］を押して確認を終了します。

3 複合機本体に原稿をセットする

原稿台カバーを開き、原稿のおもて面を下にして原稿ガイド↘に合わせてセットし、原稿台カバーを閉じます。

4 ［ファクス］を押して、操作パネルのダイヤルボタンでファクス番号（186-052-824-4773）を入力する

確認

■ 発信者番号を非通知で送信すると、自動返信されません。ファクス番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

5 ［モノクロスタート］を押す

原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 【いいえ】または［モノクロスタート］を押す

ファクスが送られます。

ファクスを受ける

お買い上げ時の設定では、ファクスの場合、着信音が 7 回鳴ったあと自動的に受信します。着信音が鳴っているあいだに電話に出たときは、子機を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信します（親切受信）。

受信したファクスは、「みるだけ受信」を設定した場合は、画面で確認します。設定しなかった場合は、自動的に印刷されます。

⇒ 13 ページ「ファクスの見かたを選ぶ（複合機本体）」
⇒ 16 ページ「ファクスの受信方法を設定する（複合機本体）」

みるだけ受信を設定した場合

1 複合機本体の［みるだけ受信］が点滅したら、［みるだけ受信］を押す

2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、確認したいファクスを選んで押す

ファクス内容が表示されます。

確認

■ 在宅モードで呼出回数を【無制限】に設定しているときは自動的に受信しません。
⇒20ページ「【D】電話専用として使う（電話専用設定）」

> ファクスの送りかた、受けかたの詳細については、下記をご覧ください。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクス」
>
> ファクスの送受信がうまくいかないときは、下記をご覧ください。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」

確認

■ このテスト用ファクス番号は、送受信テスト専用回線です。お問い合わせ等の受け付けおよび回答はできませんので、ご了承ください。

接続方法を選択する

本製品をパソコンと接続してプリンターやスキャナーとして使用する場合は、ドライバーや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。まず接続方法を選択してください。また、ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境（⇒ 72 ページ「使用環境」）を確認してください。

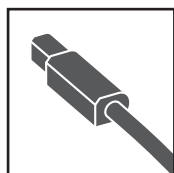
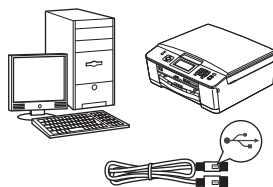
本書は、次の OS での接続方法について説明しています。
Windows® XP Home/XP Professional (x32/x64 Edition)/Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X v10.5.8、10.6.x、10.7.x

- Windows Server® シリーズ、および対応 OS の最新ドライバーについては、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）のダウンロードページをご覧ください。
- 最新ドライバーとソフトウェアは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からもダウンロードできます。CD-ROM ドライブ搭載（外付け可）のパソコンをお持ちでない場合は、サポートサイトから入手してください。ただし、付属の CD-ROM にしか収録されていないソフトウェアがあります。CD-ROM ドライブ搭載（外付け可）のパソコンをお持ちでない場合は、そのソフトウェアはご利用いただけません。
- 本製品は、有線 LAN 接続には対応していません。

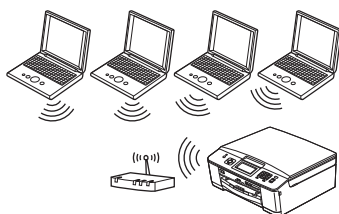
USB ケーブルで接続する場合

パソコンに直接複合機本体をつなぎます。

Windows® の場合　30 ページへ進む

Macintosh の場合　34 ページへ進む

無線 LAN で接続する場合

無線 LAN アクセスポイントに本製品を無線でつなぎます。

37 ページへ進む

USB 接続

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

確認

- インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
- 市販のセキュリティーソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティーソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが複合機本体に差し込まれていないことをご確認ください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
- 本製品は USB ケーブルと無線 LAN を同時につないで使用できます。その場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。

確認

- USB ケーブルは、まだ接続しないでください。

1 パソコンの電源を入れる

「アドミニストレーター（Administrator）権限」でログインします。

2 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

［トップメニュー］画面が表示されます。

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ（コンピューター）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［インストール］をクリックする

確認

- Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［許可］または［はい］をクリックしてください。

4 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。

（MFC-J860DN/J860DWN の場合）
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いて NewSoft CD Labeler のインストールが始まります。5 に進みます。

（MFC-J810DN/J810DWN の場合）
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。6 に進みます。

5 NewSoft CD Labeler の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

NewSoft CD Labeler がインストールされます。NewSoft CD Labeler のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

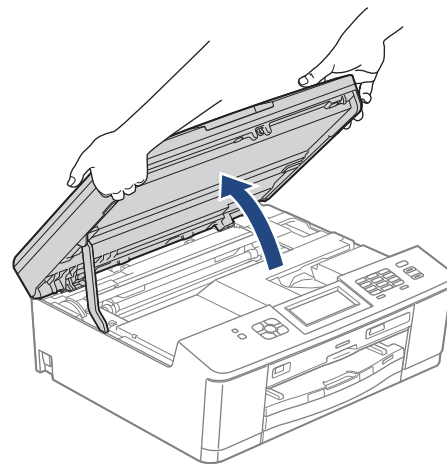
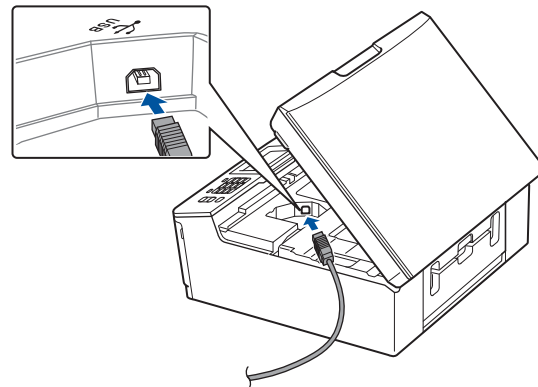
6 ブラザー製品の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

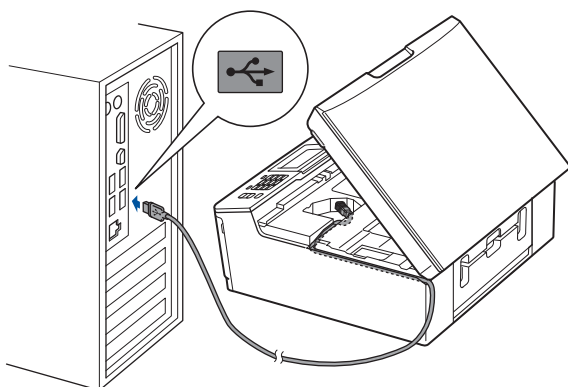
7 ［USB ケーブル］を選び、［次へ］をクリックする

インストールが始まります。

8 パソコンにケーブル接続の画面が表示されたら、複合機本体とパソコンを USB ケーブルで接続する

(1) 両手で複合機の本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

(2) USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを複合機本体の溝におさめ、パソコンに USB ケーブルを接続する

カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

確認

■ USB ケーブルは、パソコン本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。本製品はパソコンに直接接続してください。

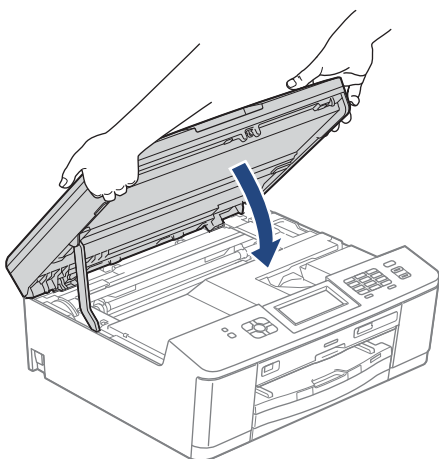
(4) 複合機の本体カバーを閉じる

注意

● 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

ソフトウェアのインストールが始まります。

確認

■ インストール中に各種のウィンドウが何度も開きますが、手順 9 の［オンラインユーザー登録］画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［Windows セキュリティ］画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

インストールが開始されない場合は、複合機本体の電源が入っていることを確認してから、複合機本体側、パソコン側の両方の USB ケーブルを接続し直してください。
それでもインストールが開始されない場合は、［キャンセル］をクリックして修復インストールを行ってください。
⇒ 33 ページ「ドライバーがうまくインストールできないときは」

9 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。
あとでユーザー登録をする場合はこのまま手順 10 に進みます。

10 ［次へ］をクリックする

11 本製品を通常使うプリンターに設定しない場合は、チェックを外す

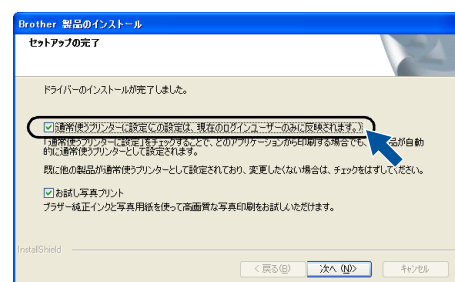
通常使うプリンターに設定する場合はこのまま手順 12 に進みます。

お試し写真プリントを行わない場合は、［お試し写真プリント］のチェックボックスのチェックを外します。
本製品の高品質印刷をご覧いただくため、お試し写真プリントを行うことをお勧めします。
お試し写真プリント画面は、初回のインストール時のみ、パソコンの再起動後に一度だけ表示されます。

12 ［次へ］をクリックする

13 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
「アドミニストレーター（Administrator）権限」でログインしてください。

14 パソコンを再起動すると各種の設定画面が順次表示されるので、それぞれ内容を確認し、設定をする

- ソフトウェア更新に関する設定
- ブラザー製品調査・サポートプログラム
- お試し写真プリント

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたか確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［モデル名］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

市販のセキュリティーソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、本製品やその他の機能を使用中にセキュリティーの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内
XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista® 以降の OS 専用のプリンタードライバーです。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバーがうまくインストールできないときは

ドライバーを手順どおりにインストールできなかった場合は、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から［カスタムインストール］－［修復インストール］をクリックして、再度インストールし直してください。

Presto! PageManager、NewSoft CD Labeler（MFC-J860DN/J860DWN のみ）がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

NewSoft CD Labeler について（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

NewSoft CD Labeler は、記録ディスク（CD/DVD/BD）のレーベル面への印刷をサポートするソフトウェアです。テンプレートを使って、ジャケットカバーに合わせてディスクレーベルを作成したり、オリジナルのディスクレーベルを作成したりできます。

ドライバーをアンインストールするときは

ドライバーをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［モデル名］－［アンインストール］の順に選択し、画面の指示に従ってください。

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite/ホームページぷりんと 2 をインストールする」に進みます。

FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite/ホームページぷりんと 2 をインストールする（57 ページ）

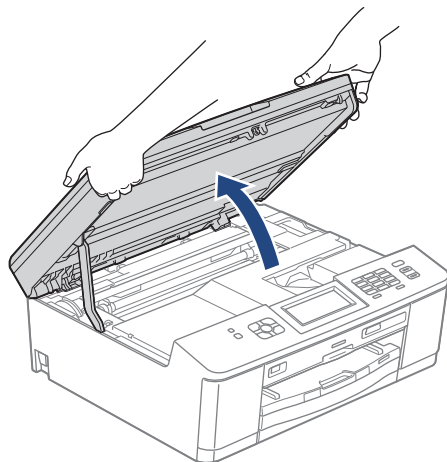
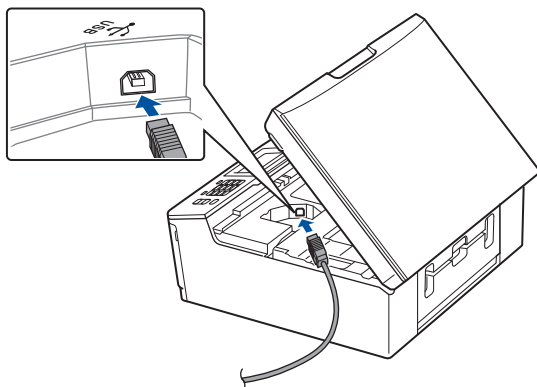
ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

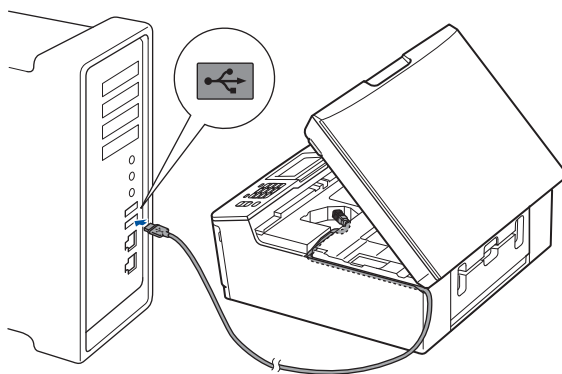
確認

- インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
- 本製品は USB ケーブルと無線 LAN を同時につないで使用できます。その場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。

1 複合機本体と Macintosh を USB ケーブルで接続する

(1) 両手で複合機の本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

(2) USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを複合機本体の溝におさめ、Macintosh に USB ケーブルを接続する

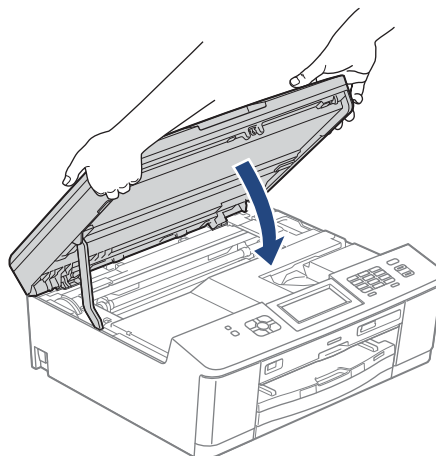
カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

確認

- USB ケーブルは、Macintosh 本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。本製品は Macintosh に直接接続してください。

(4) 複合機の本体カバーを閉じる

⚠ 注意

● 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

2 Macintosh の電源を入れる

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

3 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

4 [Start Here OSX] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

5 [USB ケーブル] を選び、[次へ] をクリックする

6 インストールが終わるまで、しばらく待つ

インストールが終わると、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

7 本製品をリストで選択し、[OK] をクリックする

8 以下の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

(MFC-J860DN/J860DWN)
NewSoft CD Labeler をダウンロードするかどうかを問うメッセージが表示されます。画面の指示に従って、ダウンロードします。NewSoft CD Labeler は、[サービスとサポート] 画面からもインストールできます。

ドライバーのインストールが終了しました。
続けて、NewSoft CD Labeler (MFC-J860DN/J860DWN のみ)、Presto! PageManager をインストールできます。

9 (MFC-J860DN/J860DWN のみ) NewSoft CD Labeler をインストールする場合は、[NewSoft CD Labeler] アイコンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

⑩ Presto! PageManager をインストールする場合は、[Presto! PageManager] アイコンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

⑪ [閉じる] をクリックして終了する

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。

NewSoft CD Labeler について（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

NewSoft CD Labeler は、記録ディスク（CD/DVD/BD）のレーベル面への印刷をサポートするソフトウェアです。テンプレートを使って、ジャケットカバーに合わせてディスクレーベルを作成したり、オリジナルのディスクレーベルを作成したりできます。

Presto! PageManager について

Presto! PageManager をインストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工したりできます。

オンラインユーザー登録のご案内（ブラザーマイポータルのご案内）

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバーやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。（https://myportal.brother.co.jp/）

ドライバーをアンインストールするときは

(1) 管理者（Administrator）権限でログインする

(2) [システム環境設定] － [プリントとファクス（プリントとスキャン）] の順に開き、削除したいプリンターを選択し、[－] ボタンをクリックする

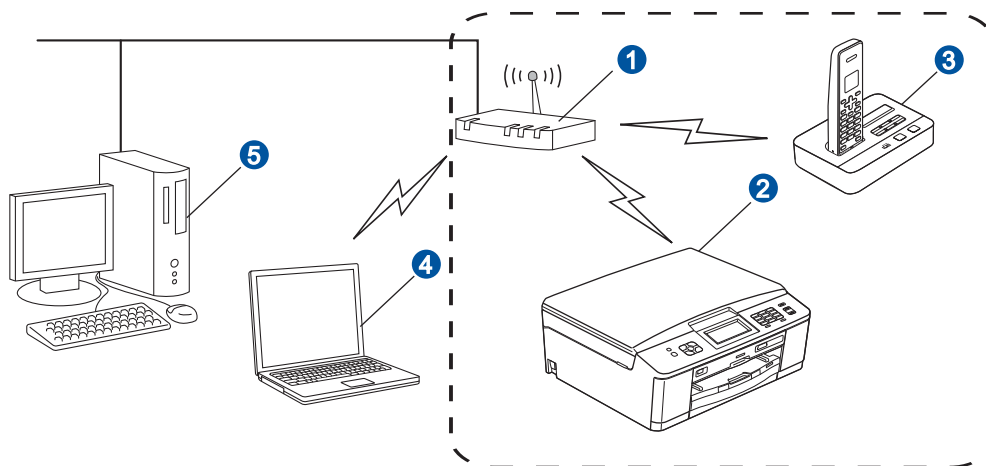
(3) [プリンタ “Brother MFC-XXXX*1” を削除してもよろしいですか ?] と表示されたら、[OK] または [プリンタを削除] をクリックする

*1 「XXXX」はモデル名です。

(4) 一旦ログアウトして、再度ログインする

無線 LAN 接続

必要な機器と無線 LAN 環境について

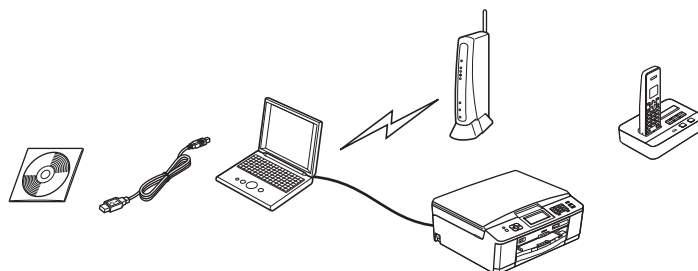
本製品は、無線 LAN アクセスポイントを経由する無線 LAN（インフラストラクチャモード）環境に接続できます。以下の環境が整っていることを確認してください。
対応 OS など、必要な環境については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
ここでは、無線 LAN アクセスポイント（❶）と、複合機本体（❷）、通信ボックス（❸）を接続する方法について、説明します。

❶ 無線 LAN アクセスポイント
❷ 複合機本体
❸ 通信ボックス
❹ パソコン（無線 LAN アクセスポイントと無線で接続）
❺ パソコン（無線 LAN アクセスポイントと有線で接続）

無線 LAN の設定方法について

無線 LAN の設定方法は、3 つあります。環境を確認して設定をしてください。

付属の CD-ROM と USB ケーブルを使って無線 LAN の自動設定をする方法（A）をお勧めします。

B または C の方法で無線 LAN を設定する場合は、複合機本体の画面上の【WiFi】ボタンを押して設定をスタートします。

A 付属の CD-ROM と USB ケーブルを使って自動設定をする（Windows®/Macintosh）

確認

■ 無線 LAN の接続をするため、一時的に USB ケーブルを使う必要があります。

■ Windows® XP の場合やコンピューターと無線 LAN アクセスポイントを有線 LAN で接続している場合は、無線の設定をするため SSID とネットワークキーを調べることで無線 LAN の設定を行えます。下記、太枠内に SSID とネットワークキーを記入してください。SSID およびネットワークキーがわからないままでは、無線 LAN の設定は行えません。必ず調べてください。

SSID[*1] （ネットワーク名）	
ネットワークキー [*2] （セキュリティーキー / 暗号化キー）	

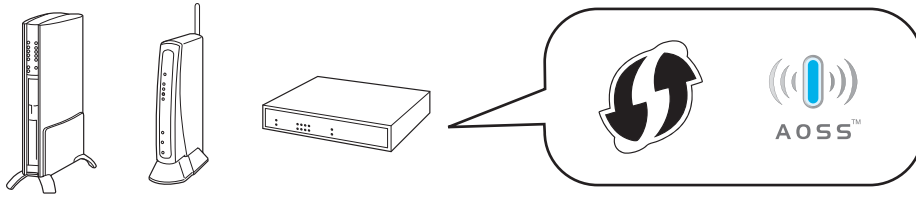
[*1] SSID：無線ネットワークの名前。ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

[*2] ネットワークキー：WEP キーや事前共有キー。セキュリティーキー、暗号化キー、パスワードとも呼ばれています。

■ SSID とネットワークキーは本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

⇒ 40 ページ「USB ケーブルを使って無線 LAN の自動設定を行う（Windows®/Macintosh）」に進み、本製品の設定を行います。

B　WPS または AOSS™ 機能を使って自動設定する（Windows®/Macintosh）

お使いの無線 LAN アクセスポイントに、以下のロゴマークが付いている場合、本製品と無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）の接続・設定を簡単に行うことができます。

確認

■ お使いの無線 LAN アクセスポイントが WPS または、AOSS™ に対応しているかどうかわからない場合は、メーカーにお問い合わせください。

WPS または AOSS™ に対応している場合は、⇒ 44 ページ「WPS/AOSS™ 機能を使って無線 LAN の自動設定を行う（Windows®/Macintosh）」に進み、本製品の設定を行います。
対応していない場合は、操作 C に進みます。

C　SSID とネットワークキーを複合機本体の操作パネルから入力して手動設定する（Macintosh/ モバイル機器 /Windows®）

SSID およびネットワークキーがわからないままでは、手動設定は行えません。必ず調べてください。

SSID*1 （ネットワーク名）	
ネットワークキー *2 （セキュリティーキー / 暗号化キー）	

*1 SSID：無線ネットワークの名前。ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

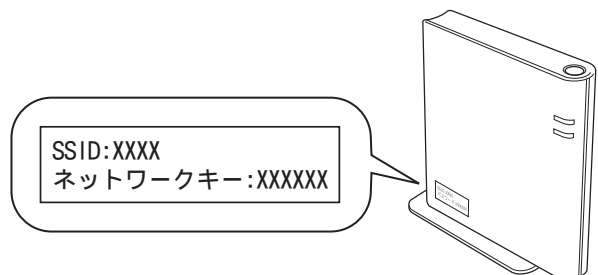
*2 ネットワークキー：WEP キーや事前共有キー。セキュリティーキー、暗号化キー、パスワードとも呼ばれています。

確認

■ SSID とネットワークキーは本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

SSID とネットワークキーを確認し、その情報を書き留めたら、⇒ 45 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う（Macintosh/ モバイル機器 /Windows®）」に進み、本製品の設定を行います。

無線 LAN セキュリティー情報（SSID とネットワークキー）の調べかた

- 初期設定の SSID（ネットワーク名）は、無線 LAN アクセスポイントにシールで貼られていたり、無線 LAN アクセスポイントのメーカー名や型番である可能性があります。取扱説明書の記載と照合してください。

- セキュリティー情報の調べかたは、お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に記載があります。よくお読みください。
- 上記の方法でセキュリティー情報がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

USB ケーブルを使って無線 LAN の自動設定を行う（Windows®/Macintosh）

無線 LAN の設定は、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されている状態で、パソコンから行います。

確認

■ インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。

■ （Windows® のみ）市販のセキュリティーソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティーソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。

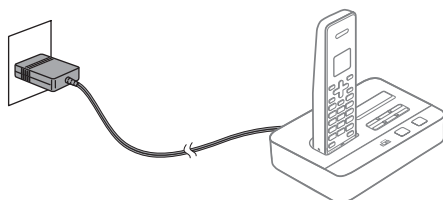
■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

ここでは、Windows® の設定のしかたを説明します。
Macintosh で USB ケーブルを使って無線 LAN の自動設定を行う場合は、付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットし、［Start Here OSX］をダブルクリックします。［無線 LAN 接続］を選び、画面の指示に従って、操作を進めてください。

1 複合機本体と通信ボックスの両方の電源が入っていることを確認する

複合機本体の電源が入っていない場合は、On/Off を押して電源を入れます。

通信ボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。

確認

■ 設定中に複合機本体の画面に【通信ボックスと接続できません】と表示された場合は、複合機本体と通信ボックスが接続されていないため無線 LAN の設定を行えません。
⇒ 46 ページ「【通信ボックスと接続できません】と表示されたときは」

2 パソコンの電源を入れる

「アドミニストレーター（Administrator）権限」でログインします。

3 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

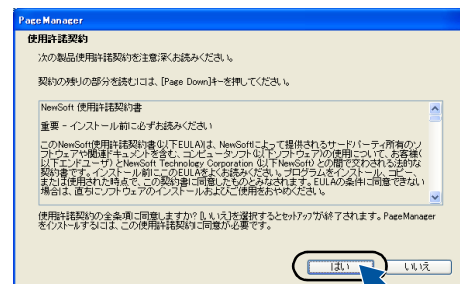
［トップメニュー］画面が表示されます。

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ（コンピューター）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

4 ［インストール］をクリックする

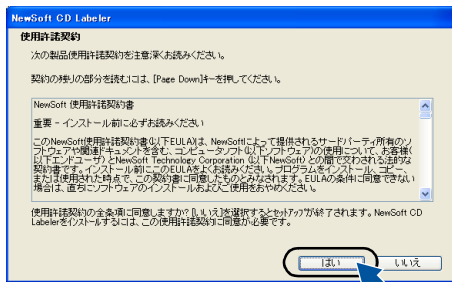
確認

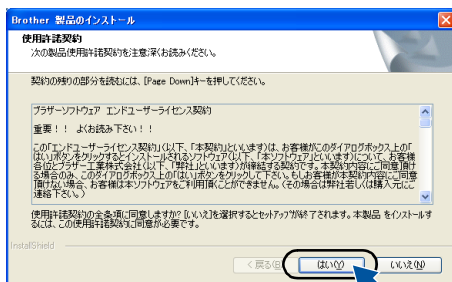
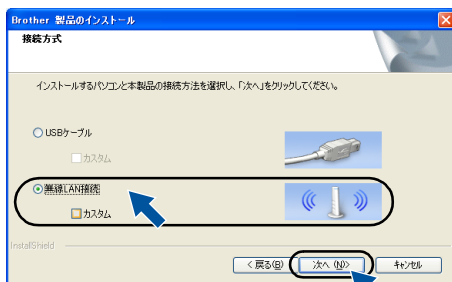
■ Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［許可］または［はい］をクリックしてください。

5 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。

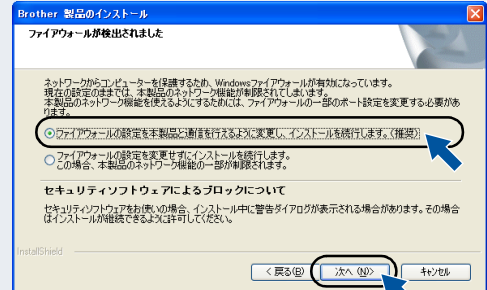
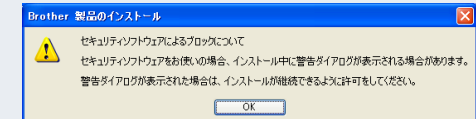
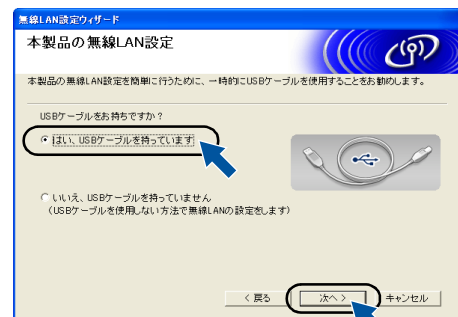
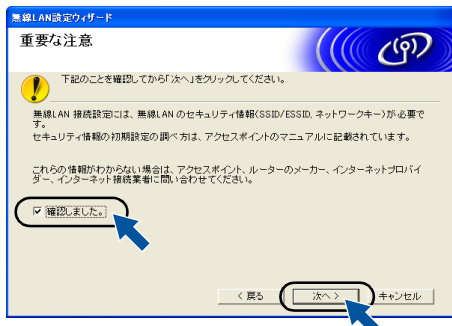
（MFC-J860DN/J860DWN の場合）
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いて NewSoft CD Labeler のインストールが始まります。6 に進みます。

（MFC-J810DN/J810DWN の場合）
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。7 に進みます。

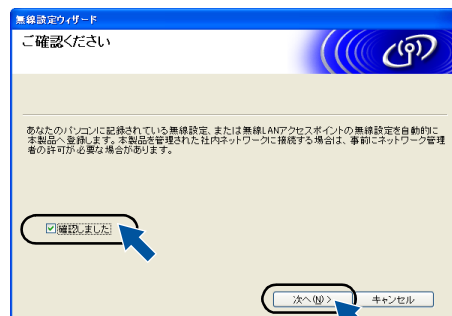
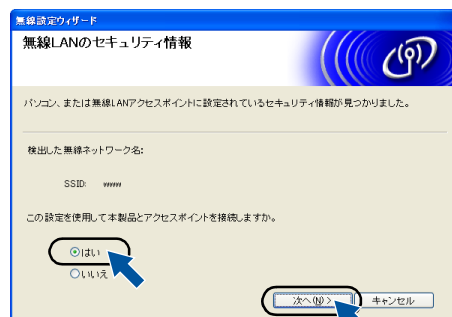
6 NewSoft CD Labeler の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

NewSoft CD Labeler がインストールされます。NewSoft CD Labeler のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

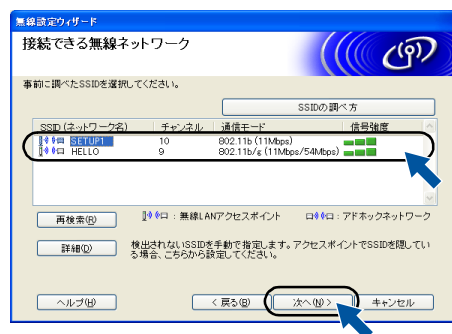
7 ブラザー製品の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

8 ［無線 LAN 接続］を選び、［次へ］をクリックする

市販のセキュリティーソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティーの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

確認

■ Windows® XP Service Pack 2 以降 / Windows Vista®/ Windows® 7 をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)］をクリックして、［次へ］をクリックしてください。

■ Windows® のファイアウォール以外のセキュリティーソフトをお使いの場合、または Windows® のファイアウォールが無効の場合に以下の画面が表示されたときは、⇒ 63 ページ「セキュリティーソフトウェアについて」をご覧ください。

9 ［はい、USB ケーブルを持っています］を選び、［次へ］をクリックする

10 確認画面が表示された場合は、「重要な注意」を読み、セキュリティー情報（SSID/ESSID、ネットワークキー）を確認後、［確認しました。］のチェックボックスにチェックを入れ、［次へ］をクリックする

11 以下の画面が表示されたら、一時的に複合機本体とコンピューターを USB ケーブルで接続する

USB ケーブルの接続方法については、⇒ 31 ページ 手順 8 をご覧ください。

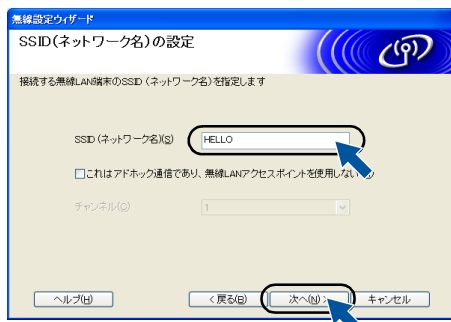
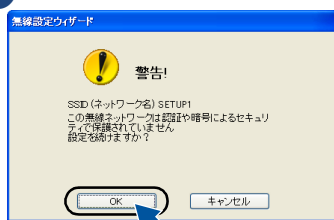
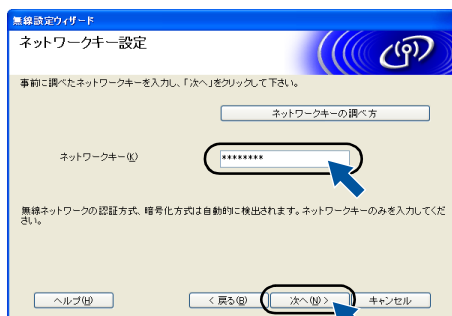
12 確認画面が表示された場合は、チェックボックスにチェックを入れ［次へ］をクリックする

次の画面で、接続する SSID が表示された場合は、［はい］にチェックを入れ［次へ］をクリックする

手順 15 に進んでください。

13 接続可能な無線 LAN アクセスポイントが表示されるので、確認した SSID を選び、［次へ］をクリックする

確認

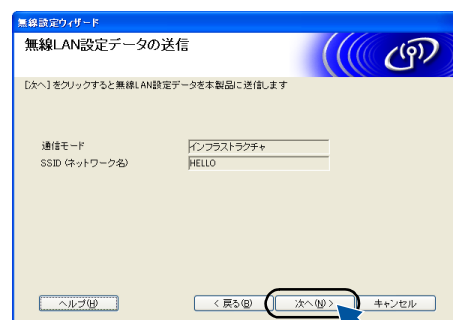
- 操作を開始する前に記入した無線LAN設定を準備してください。⇒ 38 ページをご覧ください。

リストに何も表示されない場合、以下を確認して複合機本体と無線 LAN アクセスポイントを近づけて［再検索］をクリックしてください。

• 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っている
• SSID が送信されている

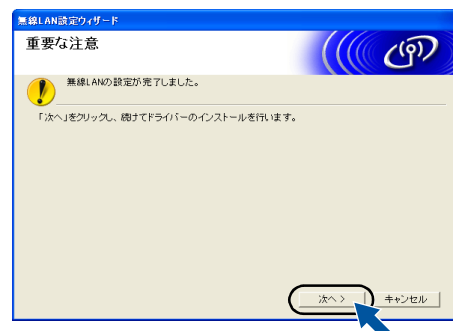
無線 LAN アクセスポイントが SSID を送信しない場合は、［詳細］をクリックし手動で設定できます。［SSID（ネットワーク名）］を入力して［次へ］をクリックしてください。

認証および暗号化の設定がされていない場合、以下の画面が表示されます。［OK］をクリックし、手順 15 に進んでください。

14 ネットワークキーを入力し、［次へ］をクリックする

15 ［次へ］をクリックする

設定内容が複合機本体に送られます。

複合機本体の画面に【通信ボックスと接続できません】と表示されます。一時的に通信ボックスとの接続を中断しているためで、問題ありません。そのまま次の手順に進んでください。

［キャンセル］をクリックした場合、それまでの設定は保存されません。

接続失敗画面が表示されたら［再設定］をクリックしてください。

16 複合機本体とコンピューターの USB ケーブルを抜く

17 ［次へ］をクリックする

無線 LAN に接続しました。無線電波の強さを、複合機本体の待機画面の表示（ ）で確認できます。

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、「ドライバーとソフトウェアをインストールする」の手順 8 に進みます。

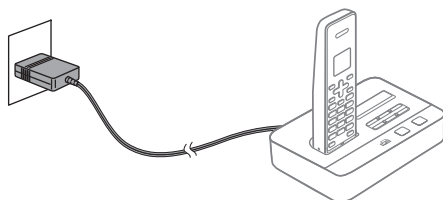
WPS/AOSS™機能を使って無線LANの自動設定を行う（Windows®/Macintosh）

無線 LAN の設定は、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されている状態で、複合機本体から行います。

1 複合機本体と通信ボックスの両方の電源が入っていることを確認する

複合機本体の電源が入っていない場合は、On/Off を押して電源を入れます。

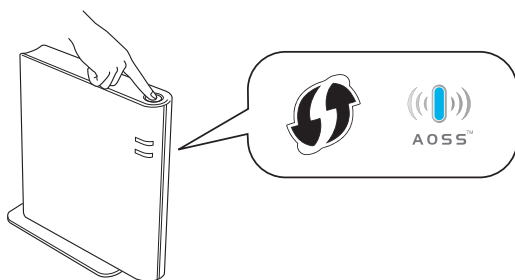
通信ボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。

確認

■ 設定中に複合機本体の画面に【通信ボックスと接続できません】と表示された場合は、複合機本体と通信ボックスが接続されていないため無線 LAN の設定を行えません。
⇒ 46 ページ「【通信ボックスと接続できません】と表示されたときは」

2 複合機本体の【WiFi】を押す

3 【WPS/AOSS】を押す

【アクセスポイントのWPS/AOSSボタンを押してください　操作ができたら OK ボタンを押してください】と表示されます。

4 無線LANアクセスポイントのWPSまたはAOSS™ ボタンを数秒間押す

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

5 【OK】を押す

【無線 LAN 設定中】と表示され、WPS または AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。しばらくそのままお待ちください。

6 正常に接続できたかを確認する

正常に接続されると、複合機本体の画面に【接続しました　しばらくお待ちください　通信ボックスとの接続を更新しています】と表示されます。接続完了後、無線 LAN レポートが印刷されます。

通信ボックスとの接続が正常に更新されると、複合機本体の画面に【接続しました】と表示されます。

接続に失敗した場合は、印刷された無線 LAN レポートのエラーコードを確認の上、下記をご覧ください。
⇒ 59 ページ「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」

7 【×】を押す

無線電波の強さを、複合機本体の待機画面の表示（　）で確認できます。

確認

■ 設定がうまくいかない場合は、操作パネルから手動設定します。この場合は、ネットワークに関する情報が必要です。
⇒ 39 ページ「SSID とネットワークキーを複合機本体の操作パネルから入力して手動設定する（Macintosh/モバイル機器 /Windows®）」

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、「ドライバーとソフトウェアをインストールする」に進みます。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）（48 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）（52 ページ）

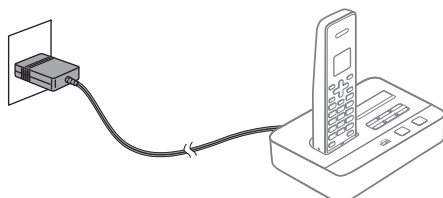
操作パネルから無線LANの手動設定を行う（Macintosh/モバイル機器/Windows®）

無線 LAN の設定は、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されている状態で、複合機本体から行います。

1 複合機本体と通信ボックスの両方の電源が入っていることを確認する

複合機本体の電源が入っていない場合は、On/Off を押して電源を入れます。

通信ボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。

確認

■ 設定中に複合機本体の画面に【通信ボックスと接続できません】と表示された場合は、複合機本体と通信ボックスが接続されていないため無線 LAN の設定を行えません。
⇒ 46 ページ「【通信ボックスと接続できません】と表示されたときは」

2 複合機本体の【WiFi】を押す

3 【無線接続ウィザード】を押す

複合機本体が通信ボックスとの接続を確認すると、無線接続ウィザードが起動します。
本製品から接続できる無線ネットワークが検索されます。

4 39 ページで書き留めた SSID（無線 LAN のネットワーク名）を選ぶ

目的の SSID が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

- 選んだ SSID が WPS に対応している場合は、WPS 機能を使った設定を行うかどうかを問うメッセージが表示されます。5 に進みます。
- ネットワークキーの入力画面が表示された場合は、手順 8 に進みます。
- ネットワークキーの入力画面が表示されない場合は、手順 10 に進みます。

SSID が表示されない場合は、書き留めた内容が正しいかを再度確認してください。
⇒ 39 ページ「無線 LAN セキュリティー情報（SSID とネットワークキー）の調べかた」

5 WPS 機能を使って自動設定を行う場合は【はい】を押す

手動で設定する場合は【いいえ（手動）】を押し、8 に進みます。

6 無線LANアクセスポイントのWPSボタンを数秒間押す

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

7 【次へ】を押す

【無線 LAN 設定中】と表示され、WPS 機能を使って自動接続が開始されます。しばらくそのままお待ちください。

10 に進みます。

8 39 ページで書き留めたネットワークキーを入力し、【OK】を押す

⇒ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」

ネットワークキーは、大文字 / 小文字や「0（ゼロ）」/「O（オー）」などに気をつけて、正確に入力してください。

【設定を適用しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

確認

■ SSID とネットワークキーは本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

9 【はい】を押す

確認

■ お使いのネットワーク環境によっては、接続に数分かかることがあります。

10 正常に接続できたかを確認する

通信ボックスとの接続が正常に更新されると、複合機本体の画面に【接続しました】と表示されます。

接続に失敗した場合は、印刷された無線 LAN レポートのエラーコードを確認の上、下記をご覧ください。
⇒ 59 ページ「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」

11 【×】を押す

無線電波の強さを、複合機本体の待機画面の表示（. ᯤ ᯤ ᯤ）で確認できます。

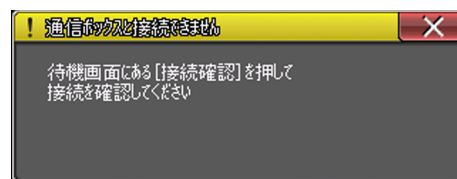
無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、「ドライバーとソフトウェアをインストールする」に進みます。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）（48 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）（52 ページ）

モバイル機器ユーザーは、お使いになるアプリケーション（例：iPrint&Scan など）のユーザーズガイドをダウンロードしてご確認ください。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

【通信ボックスと接続できません】と表示されたときは

複合機本体が通信ボックスとの接続を確認できない場合は、次の画面が表示されます。

複合機本体と通信ボックスを接続します。

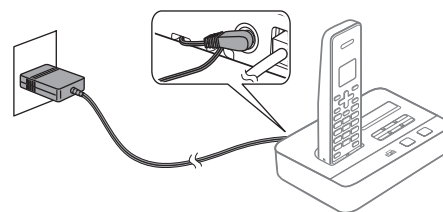
1 【×】を押す

待機画面に戻ります。

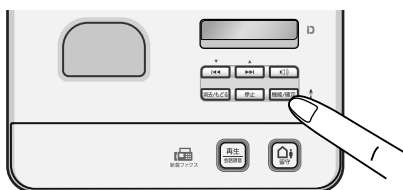
2 複合機本体の 接続確認 を押す

【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください　もしくは本体の「通信ボックス接続リセット」を行ってください】と表示されます。

3 【OK】または 停止／終了 を押して確認を終了する

4 通信ボックスの AC アダプターのプラグが、両端とも確実に差し込まれているかどうかを再度確認する

- 通信ボックスの電源が入っていなかった場合は、AC アダプターのプラグを通信ボックスに、電源プラグをコンセントに差し込み、無線 LAN の設定を最初からやり直してください。
- 通信ボックスの電源が入っている場合は、通信ボックス接続リセットを実行し、無線 LAN の設定を最初からやり直してください。
⇒ 47 ページ「通信ボックス接続リセットのしかた」

通信ボックス接続リセットのしかた

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す

2 ⏮ / ⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ⏮ / ⏭ で【7. セッテイリセット】を選び、機能/確定 を押す

4 ⏮ / ⏭ で【3. ボックスセツゾクリセット】を選び、機能/確定 を押す

【ボックスセツゾクリセット ?】と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

5 ⏮（リセット）を押す

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

6 ⏮（スル）を押す

初期化が終わると、自動的に待機状態（日時表示）に戻ります。待機状態になるまで触らずにお待ちください。
続いて、複合機本体の初期化を実行します。

7 複合機本体の【メニュー】を押す

8 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

9 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

10 【通信ボックス接続リセット】を押す

【最初に　通信ボックスの［機能 / 確定］を押してショキセッテイ　>　セッテイリセット　>　ボックスセツゾクリセット　を実行してください／はい　実行しました／リセットをやめます】と表示されます。

11 【はい　実行しました】を押す

【再起動しますか ? 実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

12 【はい】を 2 秒以上押す

初期化が終わると、複合機本体が自動的に再起動します。待機画面になるまで触らずにお待ちください。

再起動後は、複合機本体と通信ボックスは接続された状態になります。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

確認

- インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
- 市販のセキュリティーソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティーソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 パソコンの電源を入れる

「アドミニストレーター（Administrator）権限」でログインします。

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

［トップメニュー］画面が表示されます。

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ（コンピューター）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［インストール］をクリックする

確認

- Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［許可］または［はい］をクリックしてください。

4 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。

（MFC-J860DN/J860DWN の場合）
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてNewSoft CD Labeler のインストールが始まります。5 に進みます。

（MFC-J810DN/J810DWN の場合）
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。6 に進みます。

5 NewSoft CD Labeler の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

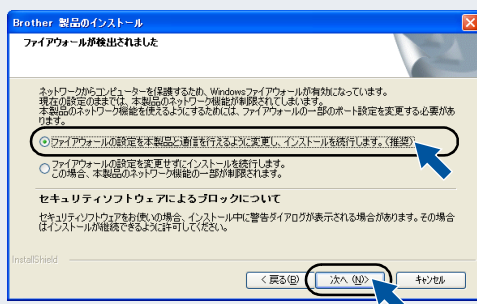
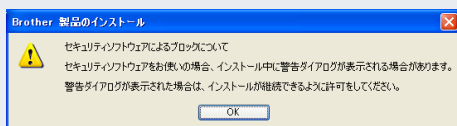
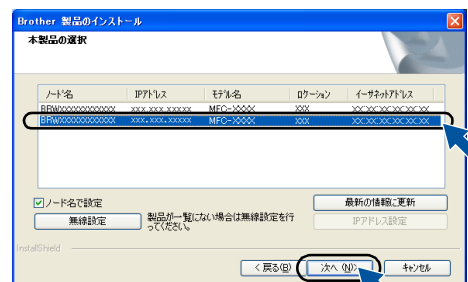
NewSoft CD Labeler がインストールされます。
NewSoft CD Labeler のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

6 ブラザー製品の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

7 ［無線 LAN 接続］を選び、［次へ］をクリックする

市販のセキュリティーソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティーの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

確認

■ Windows® XP Service Pack 2 以降 /Windows Vista®/ Windows® 7 をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)］をクリックして、［次へ］をクリックしてください。

■ Windows® のファイアウォール以外のセキュリティーソフトをお使いの場合、または Windows® のファイアウォールが無効の場合に以下の画面が表示されたときは、⇒ 63 ページ「セキュリティーソフトウェアについて」をご覧ください。

8 本製品をリストで選択し、［次へ］をクリックする

画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、［IP アドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスなどを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
⇒ 55 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

確認

■ IP アドレスを設定して複合機本体を指定すると、通信ボックスの IP アドレスも固定 IP アドレスに設定されます。

ドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

確認

■ インストール中に各種のウィンドウが何度も開きますが、手順 9 の［オンラインユーザー登録］画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

暗号化方式が WEP の場合で、本製品が見つからないときは、WEP キーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字 / 小文字を正確に入力してください。

Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［Windows セキュリティ］画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

9 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。
あとでユーザー登録をする場合はこのまま手順 10 に進みます。

10 ［次へ］をクリックする

11 本製品を通常使うプリンターに設定しない場合は、チェックを外す

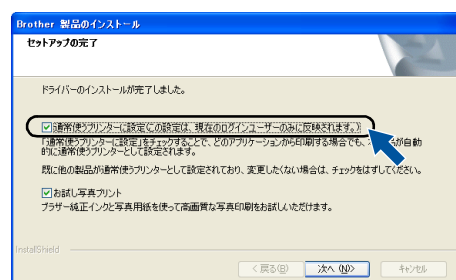
通常使うプリンターに設定する場合はこのまま手順 12 に進みます。

お試し写真プリントを行わない場合は、［お試し写真プリント］のチェックボックスのチェックを外します。
本製品の高品質印刷をご覧いただくため、お試し写真プリントを行うことをお勧めします。
お試し写真プリント画面は、初回のインストール時のみ、パソコンの再起動後に一度だけ表示されます。

12 ［次へ］をクリックする

13 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
「アドミニストレーター（Administrator）権限」でログインしてください。

14 パソコンを再起動すると各種の設定画面が順次表示されるので、それぞれ内容を確認し、設定をする

- ソフトウェア更新に関する設定
- ブラザー製品調査・サポートプログラム
- お試し写真プリント
- RSS 連携ユーティリティの使用許諾契約（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

RSS 機能（MFC-J860DN/J860DWN のみ）の詳細については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「RSS」

確認

■ インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティー許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたかを確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［モデル名 LAN］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

市販のセキュリティーソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、本製品やその他の機能を使用中にセキュリティーの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内
XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista® 以降の OS 専用のプリンタードライバーです。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

NewSoft CD Labeler について（MFC-J860DN/J860DWN）

NewSoft CD Labeler は、記録ディスク（CD/DVD/BD）のレーベル面への印刷をサポートするソフトウェアです。テンプレートを使って、ジャケットカバーに合わせてディスクレーベルを作成したり、オリジナルのディスクレーベルを作成したりできます。

ドライバーをアンインストールするときは

ドライバーをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［モデル名 LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の指示に従ってください。

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite/ホームページぷりんと 2 をインストールする」に進みます。

「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite/ホームページぷりんと 2 をインストールする」（57 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

確認

■ インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 Macintosh の電源を入れる

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

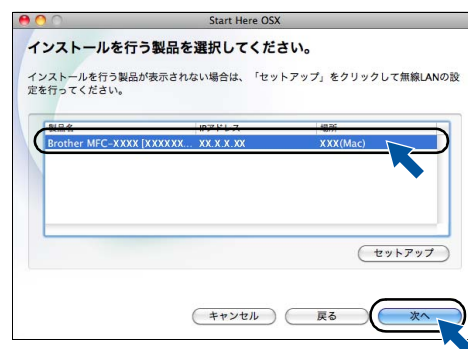
2 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

3 [Start Here OSX] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

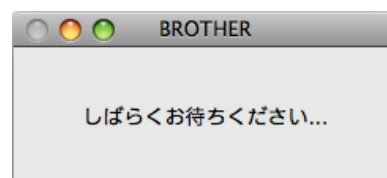
4 [無線 LAN 接続] を選び、[次へ] をクリックする

無線ネットワークに接続された本製品が検索されます。

5 本製品をリストで選択し、[次へ] をクリックする

無線 LAN 接続設定が失敗した場合は、[無線 LAN 設定ウィザード] 画面が表示されます。画面の指示に従って、操作を進めてください。

暗号化方式が WEP の場合で、本製品が見つからないときは、WEP キーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字 / 小文字を正確に入力してください。

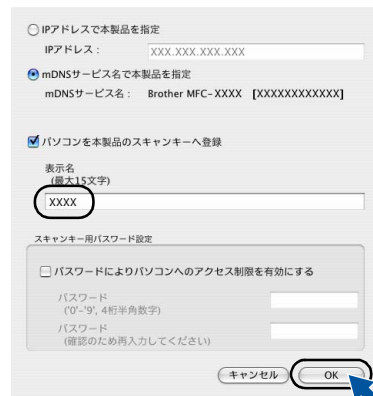
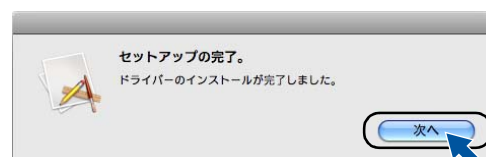
6 インストールが終わるまで、しばらく待つ

インストールが終わると、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

⑦ 本製品をリストで選択し、［OK］をクリックする

- 同じモデル名が 2 つ以上ある場合は、MAC アドレス（Ethernet アドレス）から使用する本製品を選択します。MAC アドレスは本製品の画面で確認できます。

> MAC アドレスについて
> 以下の手順で表示される画面で確認してください。
> (1) 複合機本体の【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押す
> (2) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【MAC アドレス】を表示させる

- 上記の画面上に本製品が見つからない場合は、もう一度無線 LAN の設定を行ってください。
⇒ 45 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う（Macintosh/ モバイル機器 /Windows®）」
- 現在のネットワーク設定は、ネットワーク設定リストで確認できます。
⇒ 55 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

> 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックして、表示名を入力してください。
>
>
>
>
> 表示名は、15 文字以内で入力します。
>
>
>
>
> 本製品のスキャンキーを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンデータを受信する Macintosh の名前を登録する必要があります。［パソコンを本製品のスキャンキーへ登録］をチェックし、［表示名］に Macintosh の名前を入力してください。
> ［表示名］に入力した名前が、スキャンキーを押したときに本製品の画面に表示されます。
> スキャンキー用パスワード設定の詳細については、下記をご覧ください。
> ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークスキャンの設定」

⑧ 以下の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

（MFC-J860DN/J860DWN のみ）
NewSoft CD Labeler をダウンロードするかどうかを問うメッセージが表示されます。画面の指示に従って、ダウンロードします。NewSoft CD Labeler は、［サービスとサポート］画面からもインストールできます。

> **ドライバーのインストールが終了しました。**
> 続けて、NewSoft CD Labeler（MFC-J860DN/J860DWN のみ）、Presto! PageManager をインストールできます。

9 (MFC-J860DN/J860DWN のみ) NewSoft CD Labeler をインストールする場合は、[NewSoft CD Labeler]アイコンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

10 Presto! PageManager をインストールする場合は、[Presto! PageManager]アイコンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

11 [閉じる] をクリックして終了する

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。

NewSoft CD Labeler について (MFC-J860DN/J860DWN)

NewSoft CD Labeler は、記録ディスク (CD/DVD/BD) のレーベル面への印刷をサポートするソフトウェアです。テンプレートを使って、ジャケットカバーに合わせてディスクレーベルを作成したり、オリジナルのディスクレーベルを作成したりできます。

Presto! PageManager について

Presto! PageManager インストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工したりできます。

オンラインユーザー登録のご案内 (ブラザーマイポータルのご案内)

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバーやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。(https://myportal.brother.co.jp/)

ドライバーをアンインストールするときは

ドライバーのアンインストール方法については、下記をご覧ください。
⇒ 36 ページ「ドライバーをアンインストールするときは」

ネットワーク設定の確認と初期化

ネットワーク設定リストを印刷する

無線 LAN 設定を確認するための、ネットワーク設定リストを印刷します。

1 **複合機本体の【メニュー】を押す**

2 **【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す**

3 **【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リスト】を押す**

4 **モノクロスタート を押す**

ネットワーク設定リストが印刷されます。

5 **停止 / 終了 を押して操作を終了する**

> ネットワーク設定リストの印刷は、通信ボックスの操作でも行えます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「本製品の設定内容や機能を確認する」

ネットワーク接続状態を確認する

ネットワーク設定リストの項目を確認します。

```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                   Brother NC-XXXw, IEEE 802.11b/g/n
                                                X 20XX XX:XX:XX)
<MAC Address>                 c0-cb-38-9b-63-75
<Node name>                   BRWC0CB389B6375

<Active services>             BRWC0CB389B6375
                              BINARY_P1
                              TEXT_P1
                              POSTSCRIPT_P1
                              PCL_P1
                              BRWC0CB389B6375_AT

<Protocols>
 TCP/IP            Enabled             IPv6              Disabled
 NetBIOS/IP        Enabled             APIPA             Enabled
 LegacyAuth        Enabled             SNMP              Enabled
 Remote Setup      Enabled             LPD               Enabled
 Raw Port          Enabled             IPP               Enabled
 WebServices       Enabled             Network scan      Enabled
 PC fax receive    Enabled             FTP               Enabled
 TFTP              Enabled             mDNS              Enabled
 LLMNR             Enabled             Proxy             Disabled

 IP Address                   192.168.59.63     (set manually)
 Subnet Mask                  255.255.0.0

 Boot Method                  STATIC
 Boot Tries                   3
 IP Filter                    Disabled

 GW Timeout (sec)             21
 DNS Address Config           AUTO
 Primary DNS Server           0.0.0.0
 Secondary DNS Server         0.0.0.0

<NetBIOS Name>                BRWC0CB389B6375
<WINS Address Config>         AUTO
<Primary WINS Server>         0.0.0.0
<Secondary WINS Server>       0.0.0.0

<mDNS Service Name>           Brother MFC-XXXX

<WebServices Name>            Brother MFC-XXXX [c0cb389b6375]

<Comm. Mode>                  Ad-hoc
<Name(SSID)>                  BR0189475789
<Authentication Mode>         Open System
<Wireless Link Status>        Link OK, 11g(11Mbps), Receiving Signal = 3, Operating Ch =14
                                     , 0

<Network Statistics>                  <Wireless Statistics>
 Packets Received         1846         RX Frames Received OK          1835
 Bytes Received         138171         RX Frames Error                   0
 Packets Transmitted      2103         TX Frames Transmitted OK       2098
 Bytes Transmitted      189870         TX Frames Error                  10
TWORK_CONFIGURATION_____"
```

① <MAC Address>
機械固有の番号です。
Ethernet Address とも呼ばれています。

② <Node name>
アドレスを指定する名称です。
最初の「BRW」は、無線 LAN であることを示します。

③ <IP Address>
ネットワーク上に登録された本製品の番号を示します。

> 「0.0.0.0」が印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。約 1 分待ってからもう一度ご確認ください。

④ <Subnet Mask>
IP Address（IP アドレス）に被せるマスクと考えてください。
通常は「255.255.255.0」であれば問題ありません。

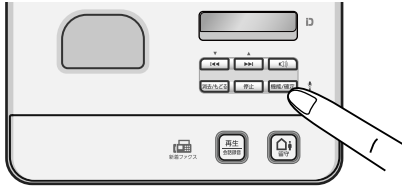
> 「0.0.0.0」が印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。約 1 分待ってからもう一度ご確認ください。

⑤ <Wireless Link Status>
無線 LAN の接続状態を示します。「Link OK」と印刷されていれば正常に接続されています。

> 「Failed To Associate」と印刷されたときは、正しく接続されていません。

ネットワーク設定を初期化する

無線 LAN 接続の設定に失敗した場合や、再度インストールし直す場合は、下記の手順で本製品のネットワーク設定を初期化してから、再度ネットワークの設定を行ってください。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す

2 ▼ / ▲ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼ / ▲ で【7. セッテイリセット】を選び、機能/確定 を押す

4 ▼ / ▲ で【2. ネットワークセッテイリセット】を選び、機能/確定 を押す

【ネットワークセッテイリセット ?】と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

5 ▼（リセット）を押す

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

6 ▼（スル）を押す

初期化が終わると、自動的に待機状態（日時表示）に戻ります。待機状態になるまで触らずにお待ちください。
続いて、複合機本体の初期化を実行します。

7 複合機本体の【メニュー】を押す

8 【ネットワーク】を押す

または、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ【初期設定】を押し、【設定リセット】を押します。

9 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リセット】を押す

【最初に　通信ボックスの［機能 / 確定］を押してショキセッテイ　>　セッテイリセット　>　ネットワークセッテイリセット　を実行してください／はい　実行しました／リセットをやめます】と表示されます。

10 【はい　実行しました】を押す

【再起動しますか ? 実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

11 【はい】を 2 秒以上押す

初期化が終わると、複合機本体が自動的に再起動します。待機画面になるまで触らずにお待ちください。

その他のソフトウェアをインストールする（Windows® のみ）

FaceFilter Studio/ BookScan&Whiteboard Suite/ ホームページぷりんと 2 をインストールする

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できる Reallusion, Inc のソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整したりできます。

BookScan&Whiteboard Suite は、以下の 2 つの機能を持った Reallusion, Inc のソフトウェアです。

- スキャン画像の補正
  スキャンした本の画像の影や傾きを自動補正します。
- ホワイトボードの画像化
  デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正します。

ホームページぷりんと 2 は、ウェブブラウザーで表示したウェブサイトを簡単に画面取得して印刷できる Corpus のソフトウェアです。

確認

- ■ 管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。
- ■ FaceFilter Studio をはじめて起動する前に、以下のことを確認してください。
  - ・ドライバーやソフトウェアのインストールが完了していること。
  - ・複合機本体の電源が入っていること。
  - ・複合機本体とパソコンが接続されていること。
- ■ インストールの際にインターネットへの接続が必要な場合があります。
  複合機本体の電源を入れ、パソコンに接続した状態でインストールを行ってください。また、パソコンがインターネットに接続できることを確認してください。
- ■ ホームページぷりんと 2 を利用するには、Windows® Internet Explorer® 7.0/8.0、または Mozilla® Firefox® 3.6 が必要です。
- ■ Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2003 R2/ 2003 R2 x64 Edition/2008/2008 R2 を使用している場合は、BookScan&Whiteboard Suite/ ホームページぷりんと 2 は利用できません。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

［トップメニュー］画面が表示されます。

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ（コンピューター）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

2 ［トップメニュー］画面の［その他ソフトウェア］をクリックする

3 ［FaceFilter Studio］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

FaceFilter Studioのインストールが終了しました。

4 ［BookScan&Whiteboard Suite］、［ホームページぷりんと 2］をインストールする

［その他ソフトウェア］画面の各ソフトウェアボタンをクリックして、ソフトウェアを順にインストールします。画面の指示に従って、インストールを進めてください。

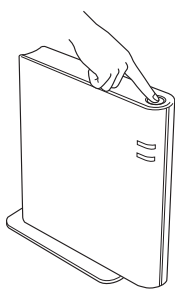
各ソフトウェアの使いかたについて

各ソフトウェアの使いかたの詳細については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

うまくインストールできないときは、一度そのソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールし直してください。

困ったときは（トラブル対処方法）

ネットワークに関するトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

無線 LAN アクセスポイントに接続できない

無線 LAN レポートのエラーコードを確認してください。エラーコードの意味と解決方法は、以下のとおりです。

エラーコード	意味	解決方法
TS-02	無線LANアクセスポイントがみつかりませんでした。	● **無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか？** 電源を入れてください。 ● **無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？** 無線 LAN を内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。 接続できない場合は、無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。 ● **無線 LAN アクセスポイントと本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？** 本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線 LAN アクセスポイントに近づけてください。 また、セットアップ時は 1m 以内に近づけてお試しください。 ● **近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？** 本製品の近くに、ほかの無線 LAN アクセスポイントやパソコン、短距離無線通信機器対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。 ● **無線 LAN のセキュリティー情報（SSID、ネットワークキー）は正しいですか？** 無線 LAN のセキュリティー情報（SSID、ネットワークキー）を確認し、手動で無線 LAN を設定し直してください。 ⇒ 39 ページ「無線 LAN セキュリティー情報（SSID とネットワークキー）の調べかた」 ⇒ 45 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う（Macintosh/ モバイル機器 / Windows®）」

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>意味</th><th>解決方法</th></tr>
<tr><td>TS-02</td><td>無線LANアクセスポイントがみつかりませんでした。</td><td>
● アクセス制限を設定していませんか？
無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング機能を使用している場合は、複合機本体と通信ボックスそれぞれの MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

本製品の MAC アドレスは、以下の手順で表示される画面で確認してください。
複合機本体の場合
(1) 複合機本体の【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押す
(2) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【MAC アドレス】を表示させる
通信ボックスの場合
(1) 通信ボックスの 機能/確定 を押し、▼⏮ / ▲⏭ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定 を押す
(2) ▼⏮ / ▲⏭ で【6. MAC アドレス】を選び、機能/確定 を押す

● 無線 LAN のセキュリティー情報（SSID、認証方式、暗号化方式、暗号化キー（ネットワークキー））の設定は正しいですか？
手動で設定した場合、間違って入力されている可能性があります。正しい無線 LAN のセキュリティー情報を確認して、設定し直してください。
⇒ 39 ページ「無線 LAN セキュリティー情報（SSID とネットワークキー）の調べかた」
● SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？
無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から無線 LAN アクセスポイントの SSID を自動的に見つけることができません。操作パネルから SSID を入力してください。設定のしかたについては、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「SSID が隠ぺいされている場合」
</td></tr>
<tr><td>TS-04</td><td>無線LANアクセスポイントで使用されている認証方式、暗号化方法を、本製品はサポートしておりません。</td><td>
無線 LAN アクセスポイントの認証方式と暗号化方式を変更してください。
インフラストラクチャモードの無線 LAN 環境の場合、本製品がサポートする無線 LAN アクセスポイントの認証方式、暗号化方式は以下のとおりです。
<table>
<tr><th>認証方式</th><th>暗号化方式</th></tr>
<tr><td rowspan="2">WPA-PSK</td><td>TKIP</td></tr>
<tr><td>AES</td></tr>
<tr><td>WPA2-PSK</td><td>AES</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オープンシステム認証</td><td>WEP</td></tr>
<tr><td>なし</td></tr>
<tr><td>共有キー認証</td><td>WEP</td></tr>
</table>
サポートされている認証方式、暗号化方法に変更しても解決しないときは、無線 LAN のセキュリティー情報が正しく設定されていません。正しい情報を確認して、設定し直してください。
⇒ 39 ページ「無線 LAN セキュリティー情報（SSID とネットワークキー）の調べかた」
</td></tr>
<tr><td>TS-05</td><td>SSID とネットワークキーの設定が間違っています。</td><td>
● 無線 LAN のセキュリティー情報（SSID、ネットワークキー）の設定は正しいですか？
ネットワークキーは、大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、ネットワークキーが間違っていないか確認してください。
※ 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合、本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
※ 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から無線 LAN アクセスポイントの SSID を自動的に見つけることができません。操作パネルから SSID を入力してください。設定のしかたについては、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「SSID が隠ぺいされている場合」
</td></tr>
</table>

エラーコード	意味	解決方法
TS-06	無線 LAN のセキュリティー情報（認証方式、暗号化方式、暗号化キー（ネットワークキー））の設定が間違っています。	● **無線 LAN のセキュリティー情報（認証方式、暗号化方式、暗号化キー（ネットワークキー））の設定は正しいですか？** 正しい無線 LAN のセキュリティー情報（認証方式 / 暗号化方式 / 暗号化キー（ネットワークキー））を確認して、設定し直してください。 ※ 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合、本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
TS-07	WPS/AOSS™ を実行している無線LANアクセスポイントが見つかりません。	WPS または AOSS™ 対応の無線 LAN アクセスポイントを使用している場合、複合機本体と無線 LAN アクセスポイントの両方の操作が必要です。 無線LAN アクセスポイントの操作方法は、お使いの無線LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただくか、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● **お使いの無線 LAN アクセスポイントは、WPS 機能または AOSS™ 機能対応機器ですか？** WPS/AOSS™ 機能対応機器は、無線 LAN アクセスポイントに右記のようなロゴマークが貼り付けられていたり、パッケージや取扱説明書に記載があります。 お使いの無線 LAN アクセスポイントが、WPS または AOSS™ 機能対応機器であることを確認してください。 AOSS™
TS-08	WPS/AOSS™ を実行している無線LANアクセスポイントが複数見つかりました。	近くで別の WPS/AOSS™ の設定が行われています。干渉を避けるため、数分後にやり直してください。 ● **近くで別の無線機器を使用していませんか？** 近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線 LAN アクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号 5 以上）設定してください。
TS-09	複合機本体から通信ボックスに無線 LAN 設定データを送ることができませんでした。	● **ネットワーク設定中に通話を行ないませんでしたか？** 通話終了後、もう一度やり直してください。 ● **通信ボックスの電源が入っていますか？** 通信ボックスの電源が入っていることを確認して、もう一度やり直してください。 ● **無線 LAN アクセスポイントで、MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能を設定していますか？** MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能をご利用の場合は、通信ボックスの MAC アドレスも無線 LAN アクセスポイントに登録してください。 ● **無線 LAN アクセスポイントで、プライバシーセパレーターなどの制限機能を設定していますか？** プライバシーセパレーターなどの制限機能はご利用いただけません。プライバシーセパレーターの設定を無効にして、本製品のネットワーク設定リセットを実行後、もう一度ネットワーク設定をやり直してください。

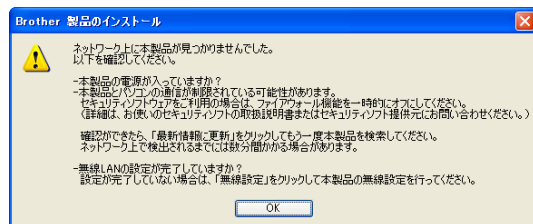
無線 LAN レポートは、無線 LAN 設定時以外でも以下の手順で印刷して確認できます。

(1) 複合機本体の【メニュー】を押す

(2) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

(3) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【無線 LAN レポート】を押す

(4) モノクロスタート を押す

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

以下の手順で確認してください。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているかを確認する

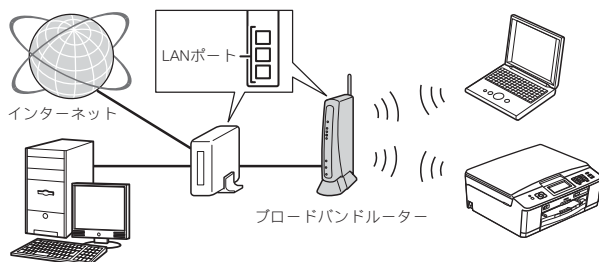
⇒ 62 ページ「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」

2 セキュリティーソフトによってブロックされていないかを確認する

⇒63ページ「セキュリティーソフトウェアについて」

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認する

⇒ 64 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

ブロードバンドルーターを追加してお使いの場合は、ブロードバンドルーターが正しく設定されているかを確認してください。
以下の接続のように、複数の LAN ポートが付いているネットワーク機器が 2 台以上ある場合、ブロードバンドルーターの設定を変更することで解決できることがあります。

※ブロードバンドルーターのメーカーへ、ブリッジモードへの変更方法をお問い合わせください。
変更方法はブロードバンドルーターの取扱説明書に記載されている場合もあります。
お問い合わせの際は、以下のことをお伝えください。
•パソコンから本製品が見つからない。
•パソコンはインターネットに接続できている。
•本製品とブロードバンドルーターは接続できている。
（無線 LAN レポートに「Connection:OK」と記載されている。）

ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下を確認してください。

● **本製品の電源は入っていますか？**

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、別冊の「ユーザーズガイド 基本編」の「こんなときは」を参照してエラーを解除してください。

● **パソコンとアクセスポイントがネットワークに接続できていますか？**

インターネット閲覧や E メールなどの機能が正常に動作しているかを確認してください。

● **「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」のエラーコードに当てはまるものはありませんか？**

⇒59ページ「無線LANアクセスポイントに接続できない」

- **アクセス制限セキュリティーがかかっているか調べる**
  無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）によっては、登録した機器しか通信させない「MAC アドレスフィルタリング」という、アクセス制限のセキュリティーがかかっていることがあります。その場合、本製品の情報をあらかじめ無線 LAN アクセスポイントに登録して、本製品からのアクセスを許可させる必要があります。登録のため、本製品の MAC アドレス（機械固有の番号）が必要になったときは、以下の手順で表示される画面で確認してください。

  複合機本体の場合
  (1) 複合機本体の【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押す
  (2) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【MAC アドレス】を表示させる

  通信ボックスの場合
  (1) 通信ボックスの 機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定 を押す

  (2) ▼ / ▲ で【6. MAC アドレス】を選び、機能/確定 を押す

- 無線LANアクセスポイントのAOSS^{TM}ボタンを押して設定を行っている間は、すでにご利用中の無線機器が一時的に通信できなくなります。例えば、ゲーム機などを無線で接続中の場合、接続が切れてしまう場合があります。WPS/AOSS^{TM} の設定を始める前に、通信中の無線機器に支障がないか、お確かめください。なお、設定が完了すると、自動的に通信できるようになります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- PIN 方式を使用したい場合は、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「WPS の PIN コード入力方式を使用する」、「WPS（PIN コード）（無線 LAN のみ）」

無線 LAN 環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意

- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意

- 環境によっては、USB 接続と比べて通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、USB接続で印刷することをお勧めします。

確認

- ■ メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことを確認してください。
- ■ 無線 LAN を設定し直す場合は、ネットワーク設定を初期化してください。
⇒ 56 ページ「ネットワーク設定を初期化する」

● 必要な機器

パソコン	無線LANアクセスポイントに無線LAN、または有線LANで接続されており、ネットワークに接続できる状態になっていることを確認します。
無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）	IEEE802.11b/g/n に対応した製品が必要です。

本書では、インフラストラクチャモードの無線 LAN 環境の場合の接続方法について説明しています。アドホックモード（無線 LAN アクセスポイントを経由せずに使うモード）で無線 LAN をお使いの場合は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。

確認

- ■ DHCP 機能のある ADSL モデム、またはひかり電話対応機器（ルーター機能付）の環境に更に無線 LAN アクセスポイント等を追加接続している場合は、追加のアクセスポイントの DHCP 機能等を OFF にしてください。詳しくは、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

セキュリティーソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティーソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティーの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

確認

- ■ セキュリティー許可を促す画面で、拒否をするとインストールを完了できないことがあります。この場合は、セキュリティーソフトを再度インストールするか、セキュリティーソフト提供元にお問い合わせください。

印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティー許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。拒否をした場合の対処や印刷に使用するポートの通信許可の方法については、セキュリティーソフト提供元にお問い合わせください。

本製品のネットワーク機能をご利用になるとき（Windows® のみ）

以下の機能をご利用いただく場合は、セキュリティー設定を行う必要があります。

- ネットワークスキャン
- ネットワーク PC ファクス受信
- リモートセットアップ

それぞれのセキュリティーソフトの設定で、下記のポート番号を追加してください。
ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティーソフトの取扱説明書、またはセキュリティーソフト提供元にお問い合わせください。

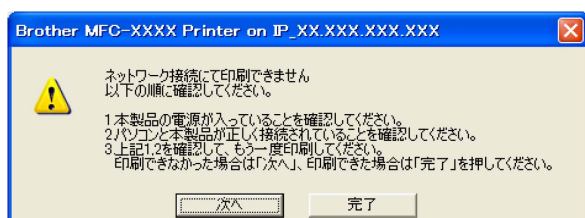
機能	名称 *1	ポート番号	プロトコル（TCP/UDP）
ネットワークスキャン	例）Brother NetScan	54925	UDP
ネットワーク PC ファクス受信	例）Brother PC-FAX RX	54926	UDP
リモートセットアップ	例）Brother RemoteSetup	137、161	UDP

*1 名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

Windows® の場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」が用意されています。このツールを使って自動で修復できるかどうかをお試しください。
Macintosh の場合は、お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で確認し、再設定を行います。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って診断、修復する（Windows® の場合）

ネットワーク接続で印刷できないときは、次の画面が自動的に表示されます。以下の手順を実行してください。

1 画面の 1、2 の内容を確認して、もう一度印刷する

印刷できた場合は、［完了］をクリックします。
印刷できない場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って修復します。
⇒手順 2 へ

2 ［次へ］をクリックする

［ネットワークプリンタ診断を行います。ネットワークプリンタ診断を行う場合は「次へ」を押してください。］と表示されます。

3 ［次へ］をクリックする

ネットワークプリンター診断修復ツールが自動的に起動します。

4 画面の指示に従って、診断修復作業を行う

確認

■ Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［続行］または［はい］をクリックしてください。

5 診断修復作業完了の画面が表示されたら、［テストページの印刷］をクリックする

テストページが印刷されることを確認してください。

確認

■ 診断修復作業を行うと、複合機本体の IP アドレスは、固定 IP アドレスに設定されます。

手動で確認 / 設定する（Macintosh の場合）

お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。必要に応じて、本製品の IP アドレスを手動で設定します。

1 パソコンのネットワーク情報を調べる

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］－［ネットワーク］をクリックする

3 ［詳細］－［TCP/IP］をクリックする

4 「IPv4 アドレス（IP アドレス）」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

（A）パソコン側

IP Address（IP アドレス）	. . .
Subnet Mask（サブネットマスク）	. . .

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

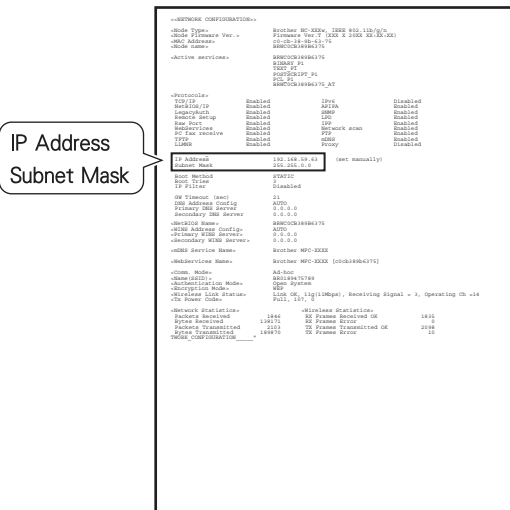
Subnet Mask（サブネットマスク）	255. 255. 255. 0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2　本製品のネットワーク情報を調べる

1 ネットワーク設定リストを印刷する

⇒ 55 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

2 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

（B）本製品側

IP Address（IP アドレス）	.　.　.
Subnet Mask（サブネットマスク）	.　.　.

3　パソコンの IP アドレスと本製品の IP アドレスを比較する

64 ページ「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」で書き留めた（A）の値と、65 ページ「2 本製品のネットワーク情報を調べる」で書き留めた（B）の値を比較します。

（A）パソコン側

IP Address（IP アドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

（B）本製品側

IP Address（IP アドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

1 （A）と（B）の太枠の部分が同じであることを確認する

例

（A）パソコン側

IP Address（IP アドレス）	192.	168.	123.	011

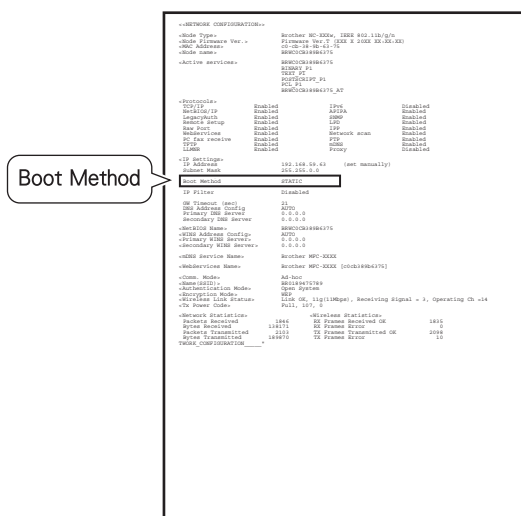
（B）本製品側

IP Address（IP アドレス）	192.	168.	123.	250

2 灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する

3 灰色の部分の値が、2 ～ 254 の範囲内であることを確認する

4　本製品の IP アドレス取得方法を確認する

65 ページ「2 本製品のネットワーク情報を調べる」で印刷したネットワーク設定リストの、「Boot Method」の項目を確認します。

- 「Boot Method」が「AUTO」の場合

  本製品をパソコンと同じルーターやハブに接続し、本製品の電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、次の「「Boot Method」が「STATIC」の場合」を参照して手動で設定してください。

- 「Boot Method」が「STATIC」の場合

  本製品の IP アドレスを以下のように設定してください。

IP Address（IP アドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

太枠内

64 ページ「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」の（A）と同じ値を設定してください。

灰色の部分

ネットワークに参加しているすべてのパソコンと異なる、2 ～ 254 の値を設定してください。

この場合、ほかの機器と同じ IP アドレスにならないように、200 ～ 250 の範囲内で IP アドレスを選択することをお勧めします。（例えば、本製品の IP アドレスを 192.168.123.250 に割り当てます。）詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書またはルーター提供元にお問い合わせください。

本製品の IP アドレス設定方法

複合機本体の場合

(1) 複合機本体の【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押す

(2) 【TCP/IP】を押す

(3) 【IP アドレス】を押す

(4) IP アドレスをタッチパネルから入力し、【OK】を押す

(5) 停止 / 終了 を押す

通信ボックスの場合

(1) 通信ボックスの 機能/確定 を押し、▼ ⏮ / ▲ ⏭ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定 を押す

(2) ▼ ⏮ / ▲ ⏭ で【2. IP アドレス】を選び、機能/確定 を押す

現在設定されている IP アドレスと【ヘンコウ ▼ スル ▲ シナイ】が交互に表示されます。

(3) ▼ ⏮ (スル) を押す

(4) ▼ ⏮ / ▲ ⏭ と 機能/確定 で各桁の数値の選択と確定を繰り返して、IP アドレスを入力する

(5) 停止 を押す

確認

■ ネットワーク情報 (IP アドレスおよびサブネットマスク) を再設定した場合、以下の点にご注意ください。

1.スキャナー、PC-FAX 送信、リモートセットアップ機能等を有効にするためには、本製品のネットワーク情報を調べて、ドライバーを再インストールする必要があります。

2.同じネットワーク上で、このプリンターを利用しているパソコンがほかにある場合は、上記と同様にプリンターのIPアドレスを指定してドライバーを再インストールする必要があります。

5 ドライバーの再インストールをする

パソコンにドライバーを再インストールする必要があります。

⇒ 52 ページ「ドライバーとソフトウェアをインストールする (Macintosh の場合)」

用語集

● アドホックモード

無線 LAN アクセスポイントを経由せずに、無線機器同士が 1 対 1 で直接通信を行う方式です。

一時的に接続するゲーム機等に適した通信方式です。このアドホックモードに対して、無線 LAN アクセスポイントを経由する無線通信の方式を「インフラストラクチャモード」と呼びます。

> このモードではインターネットの接続設定が失われます。本製品との接続は後述のインフラストラクチャモードをお勧めします。

● 暗号化（セキュリティー）方式

インターネットなどのコンピューター・ネットワークを通じて情報を送るとき、途中で他人に見られても解読できないようにすることを暗号化と言います。

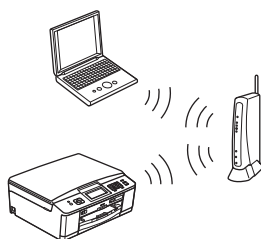
この暗号化にはさまざまな様式があり、特に無線 LAN では WEP や TKIP/AES などが利用されています。

> 暗号化された内容は、その暗号方式に従って解読をしなければ内容を読めません。解読をするものをネットワークキー（パスワード）といいます。ネットワークキーは無線 LAN アクセスポイントで調べて用意しておく必要があります。

● インフラストラクチャモード

無線 LAN アクセスポイントを経由して通信する方式です。

無線機器が複数あり、同時にインターネットにも接続したい場合に適した通信方式です。特に理由がなければ、通常はインフラストラクチャモードを利用してください。

このインフラストラクチャモードに対して、無線 LAN アクセスポイントを経由しない無線通信の方式を「アドホックモード」と呼びます。

> 有線 LAN と同じネットワーク構成が適用できます。

● ゲートウェイ

ネットワークの「出入り口」の役割を果たすルーターなどの機器を指します。

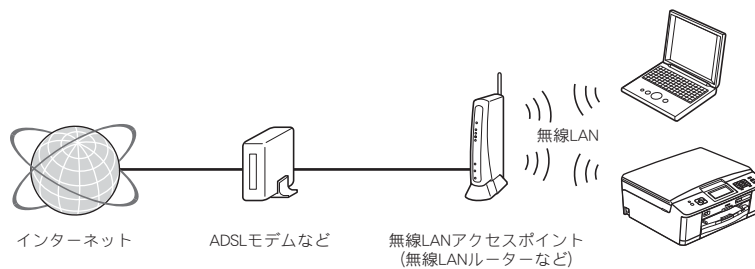
> 一般家庭ではインターネットへの出入り口を指します。なお、DHCP サーバーで自動割付されている場合は意識せず利用できます。

● サブネットマスク

IP アドレスの中で、どこまでがネットワーク全体のアドレスで、どこからがホスト（パソコン、プリンターなどのネットワーク機器）用のアドレスかを識別するために使われています。

> 通常は、クラス C と呼ばれる「255.255.255.0」の値でご利用ください（多くのアクセスポイントの初期値）。なお、DHCP サーバーで自動割付されている場合は意識せず利用できます。

● 無線 LAN アクセスポイント

無線通信の中継装置です。
無線ブロードバンドルーター、無線 LAN 親機と呼ばれたりします。

本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続するためには、無線 LAN アクセスポイントの情報が必要になります。

● ルーター

ネットワーク同士を相互接続するときに使用する機器です。
ブロードバンドルーターを使用してインターネットに接続をしている場合は、ルーターがゲートウェイの役割をしています。

ルーターに無線機能が付くと無線 LAN アクセスポイントとも呼ばれます。つまり、機能を指して呼びかたが変わることがありますので、混乱しないようにしてください。

● AOSSTM（エーオーエスエス）

AirStation One-Touch Secure System の略。バッファロー社が開発した無線 LAN 製品に搭載している技術です。

無線 LAN を利用するには複雑な設定が必要ですが、AOSSTM では、まず子機（本製品やパソコンなど）の側の AOSSTM ボタンを押して、次に親機（無線 LAN アクセスポイント）の側の AOSSTM ボタンを押すだけで機器が自動的に必要な設定を行ないます。

無線の知識がなくても、ボタンを押すだけで自動的に、接続の設定とセキュリティーの設定を同時に行います。

● DHCP（ディーエイチシーピー）

ネットワークへパソコンやプリンターを接続するときに便利な機能です。

現在普及しているネットワークでは、接続されたパソコンやプリンターなどの IP アドレスを決める際、重複がないように管理する必要があります。ほかにも設定すべき項目があり、新しい機器をネットワークに接続するのは大変な作業になります。しかし DHCP を使うと、このような設定が自動的に行われるようになります。

最近のブロードバンドルーターには最初から DHCP 機能が組み込まれています。また、CATV 経由でインターネット接続するときに使うケーブルモデムにも DHCP 機能が付いていることがあります。このような場合は、特に複雑な設定をしなくても DHCP の機能を利用できます。ただし、複数のルーターを接続するような場合は、1 台だけ DHCP 機能を有効にして、ほかは無効にする必要があります。

● IP アドレス（アイピーアドレス）

インターネットやネットワークに接続されたパソコンやネットワーク機器を識別するために割り振るアドレス（住所）の数字です。
「192.168.0.10」などのように、ピリオドで 4 つに区切られた数字で表現する IPv4 という方式が普及しています。

電源を切っていたりして、IP アドレスをしばらくの間自動取得していない場合、IP アドレスが再度割り振りされて変わってしまうことがあります。本製品は固定 IP アドレスで使用することをお勧めします。

● MAC アドレス（マックアドレス）

ネットワーク機器に登録されている機器固有の名前です。Ethernet Address（イーサネットアドレス）とも呼ばれています。すべてのネットワーク機器に、それぞれ異なる MAC アドレスが与えられています。

> MAC アドレスを調べるときは、以下の手順で表示される画面で確認してください。
> 複合機本体の場合
> (1) 複合機本体の【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押す
> (2) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【MAC アドレス】を表示させる
> 通信ボックスの場合
> (1) 通信ボックスの 機能/確定 を押し、▼⏮ / ▲⏭ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定 を押す
> (2) ▼⏮ / ▲⏭ で【6. MAC アドレス】を選び、機能/確定 を押す

● MAC アドレスフィルタリング（マックアドレスフィルタリング）

無線 LAN アクセスポイントのセキュリティー機能です。

あらかじめ無線 LAN アクセスポイントにネットワーク機器の MAC アドレスを登録しておき、その登録した機器にしか通信を許可しません。

> 登録していない不明な機器からの不正侵入をブロックできます。よって、この機能が有効になっている無線 LAN アクセスポイントへ接続する場合、本製品の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに登録しておく必要があります。

● SSID（エスエスアイディー）

無線通信時のネットワーク名です。ESSID、ESS-ID と呼ぶこともあります。

IEEE 802.11 シリーズと呼ばれる無線 LAN のネットワークで使用され、最大 32 文字までの英数字を用いて任意に設定できます。無線 LAN アクセスポイントのメーカーにより、初期値は異なります。

> 無線 LAN アクセスポイントは定期的に電波を発信し、その中には SSID の情報も含まれています。つまり第 3 者から SSID の存在が容易に調べられます。このような場合、SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）により見えなくすることもできます。

● TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

インターネットなどのネットワーク通信で広く使われているプロトコル（コンピューター同士が通信するために使う共通の言葉）です。

● WEP（ウェップ）

無線 LAN の規格である IEEE802.11 に、データを暗号化して送受信する機能が追加され、これを、WEP（暗号化）機能と呼んでいます。

最近の無線 LAN の機器は、ほとんどが WEP 暗号化に対応しています。

● WPA/WPA2（ダブリューピーエー / ダブリューピーエー 2）

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance® が発表したセキュリティー規格で、WEP 暗号より強力な暗号方式である TKIP/AES 暗号を使用しています。

ユーザー認証機能、一定時間ごとに暗号化に使う鍵を自動的に更新する機能、情報が改ざんされていないかを確認する機能などが盛り込まれています。

> 本製品では WPA-PSK（TKIP/AES）と WPA2-PSK（AES）をサポートしています。

● WPS（ダブリューピーエス）

Wi-Fi Protected Setup の略。無線 LAN は、電波を傍受されると通信データを盗まれる可能性があるので、セキュリティーの設定が欠かせません。WPS とは、Wi-Fi Alliance® が考案した、簡単に接続設定できる規格です。

親機（無線 LAN アクセスポイント）も子機（本製品やパソコンなど）も WPS に対応していれば、それぞれのセットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。または、PIN と呼ばれる機器固有の番号を入力・登録する PIN コード方式があります。

> 無線の知識がなくても、ボタンを押すだけで自動的に、接続の設定とセキュリティーの設定を同時に行います。
> 本製品では、ボタンを押すだけの方式と PIN コード方式の 2 種類の設定方式に対応しています。

CD-ROM の内容

付属の CD-ROM をセットして表示される画面から、以下のことが行えます。

Windows®

インストール

本製品をプリンターやスキャナーとして使用するために必要なドライバーをインストールします。また、本製品をより便利にお使いいただくために Presto! PageManager や ControlCenter4、NewSoft CD Labeler（MFC-J860DN/J860DWN のみ）などのソフトウェアもインストールします。

ユーザーズガイド

PDF 形式のユーザーズガイドをご覧になれます。

カスタムインストール

プリンタードライバーだけなど、必要なソフトのみを個別にインストールすることができます。
また、ネットワークプリンターのドライバーやネットワークユーティリティーのインストール、本製品の無線 LAN のインストールを設定できます
ドライバーのインストールがうまくいかなかった場合に行う「修復インストール」も用意されています。
※ 修復インストールは、USB ケーブルで接続している場合にのみ使用できます。

その他ソフトウェア

- **FaceFilter Studio**
  写真を簡単にふちなし印刷できます。また、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情を変化させることもできるソフトウェアです。
- **BookScan&Whiteboard Suite**
  スキャンした本の画像の影を除去したり、デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正できるソフトウェアをダウンロードできます。
- **ホームページぷりんと 2**
  ウェブブラウザーで表示したウェブサイトを簡単に画面取得して印刷できるソフトウェアをダウンロードできます。
- **NewSoft CD Labeler（MFC-J860DN/J860DWN のみ）**
  記録ディスクのレーベル面への印刷をサポートするソフトウェアです。
- **NewSoft Presto! Image Folio**
  画像を編集できるソフトウェアです。

サービスとサポート

- **ブラザーホームページ**
  ブラザーのホームページへリンクします。
- **サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）**
  インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データをダウンロードできます。
- **ブラザーダイレクトクラブ**
  インクカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。
- **消耗品情報**
  ブラザー純正の消耗品などの購入について案内しているサイトへリンクします。
- **ブラザープリンタースペシャルサイト**
  無料でダウンロードできる各種コンテンツや、イベント・キャンペーン情報などを取り揃えた弊社のウェブサイトへリンクします。

オンラインユーザー登録

オンラインでユーザー登録を行います。

Macintosh

Start Here OSX
本製品をプリンターやスキャナーとして使用するために必要なドライバーをインストールします。
ユーティリティ
無線 LAN 設定ウィザードが用意されています。
ユーザーズガイド
PDF 形式のユーザーズガイドをご覧になれます。
サービスとサポート
• **NewSoft CD Labeler（MFC-J860DN/J860DWN のみ）** 記録ディスクのレーベル面への印刷をサポートするソフトウェアをダウンロードできます。 • **Presto! PageManager** TWAIN 準拠のスキャナーソフトウェアをダウンロードできます。 • **オンラインユーザー登録** オンラインでユーザー登録を行います。 • **サポート情報** インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データをダウンロードできます。 • **消耗品情報** ブラザー純正の消耗品などの購入について案内しているサイトへリンクします。

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		サポートしている機能	インターフェイス	CPU/システムメモリー	必要なメモリー	推奨メモリー	必要なディスク容量	
							ドライバー	その他のソフトウェア
Windows®	Windows® XP Home*1 Windows® XP Professional*1	プリント、 PC-FAX*3、 スキャン、 リムーバブルディスク*4	USB*2、 無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）	Intel® Pentium® II プロセッサー相当	128 MB	256MB	150MB	1GB
	Windows® XP Professional x64 Edition*1			64ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）	256 MB	512 MB		
	Windows Vista®*1			Intel® Pentium® 4 プロセッサー相当 64ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）	512MB	1GB	500MB	1.3GB
	Windows® 7*1				1GB（32ビット） 2GB（64ビット）	1GB（32ビット） 2GB（64ビット）	650MB	
	Windows Server® 2003（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）	プリント	無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）	Intel® Pentium® III プロセッサー相当	256 MB	512 MB	50MB	なし
	Windows Server® 2003 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）				
	Windows Server® 2003 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® III プロセッサー相当				
	Windows Server® 2003 R2 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）	512MB	1GB		
	Windows Server® 2008（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® 4 プロセッサー相当 64ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）		2GB		
	Windows Server® 2008 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）				
Macintosh	Mac OS X v10.5.8	プリント、 PC-FAX送信*3、 スキャン、 リムーバブルディスク*4	USB*2、 無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）	PowerPC G4/G5 Intel® プロセッサー	512MB	1GB	80MB	550MB
	Mac OS X v10.6.x			Intel® プロセッサー	1GB	2GB		
	Mac OS X v10.7.x				2GB			

*1 WIA を使ったスキャンは、最大 1200x1200dpi の解像度に対応しています。スキャナーユーティリティーを使用すれば、最大 19200x19200dpi の解像度に対応できます。
*2 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*3 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*4 本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で［リムーバブル ディスク］として使用できます。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使用するための準備が終了しました。本製品をお使いいただくときは、目的に合わせて必要なユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。

ユーザーズガイド 基本編（冊子）	付属の CD-ROM に収録（PDF 形式）		
	ユーザーズガイド パソコン活用編	ユーザーズガイド ネットワーク知識編	ユーザーズガイド ネットワーク操作編
● ご使用の前に ● 電話 ● ファクス ● 電話帳 ● 留守番機能 ● コピー ● デジカメプリント ● RSS (MFC-J860DN/J860DWN のみ) ● こんなときは	● プリンター ● スキャナー ● PC-FAX ● メモリーカードアクセス ● リモートセットアップ ● RSS 設定 (MFC-J860DN/J860DWN のみ) ● 便利な使い方（ControlCenter）	● ネットワーク接続とプロトコルについて ● ネットワークの設定について ● 無線LANの用語と概念 ● Windows® でネットワークを設定する	● 無線LAN詳細設定方法 ● ネットワーク機能を使う

画面で見るマニュアル（HTML 形式）、モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式）、Google クラウド プリント ガイド（PDF 形式）、AirPrint ガイド（PDF 形式）を閲覧するには

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

CD-ROM 内のユーザーズガイド（PDF 形式）を閲覧するには

CD-ROM に収録されているユーザーズガイドを見るときは、以下の手順で操作します。

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされ、デスクトップにショートカット が作成されます。

をダブルクリックする、またはスタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［モデル名］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

(1) **付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする**
◆［トップメニュー］画面が表示されます。

(2) **［ユーザーズガイド］をクリックする**

(3) **［画面で見るマニュアル　PDF 形式］をクリックする**
◆ 収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

(4) **見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする**
◆ ユーザーズガイドが表示されます。

Macintosh の場合

(1) **付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする**

(2) **［ユーザーズガイド］をダブルクリックする**

(3) **［top.pdf］をダブルクリックする**

(4) **見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする**
◆ ユーザーズガイドが表示されます。

ユーザーズガイド（PDF 形式）をご覧になるには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。
パソコンに Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® がインストールされていない場合は、インストールする必要があります。アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/）から Adobe® Reader® をダウンロードしてください。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）とBella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の2つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC12BK
イエロー（黄）	LC12Y
シアン（青）	LC12C
マゼンタ（赤）	LC12M
4個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各1個］	LC12-4PK
黒2個パック［ブラック（黒）2個］	LC12BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、複合機本体にインクを充填させるため、2回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20枚入り
		BP71GLJ50（L判）	50枚入り
		BP71GLJ100（L判）	100枚入り
		BP71GLJ300（L判）	300枚入り
		BP71GLJ500（L判）	500枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25枚入り

- OHPフィルムは、住友スリーエム社製OHPフィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

ブラザー工業株式会社
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1